

電 気 設 備 工 事 仕 様 書

I 工 事 概 要

1. 工 事 場 所

鹿足郡津和野町後田口412 他2筆

2. 地 域 地 区

(都市計画区域内)

3. 敷 地 面 積

1,042.39 m²

4. 建 物 用 途

集会場

5. 棟 別 概 要

No.	建 物 名 称	建築種別	構 造	階数	消防法 の区分	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)
1	対青館	修繕	木造	2	(1)	187.68	256.30
2	倉庫	修繕	木造	2	(14)	25.63	46.00
3							
4							
5							
6							
7							
合 計						213.31	302.30

6. 工 事 種 目

(○印を付したものが該当)

	1	2	3	4	5	6	7
受 変 電 設 備							
電 力 貯 蔵 設 備							
発 電 設 備							
電 灯 コ ン セ ン ト 設 備	○						
動 力 設 備							
構 内 情 報 通 信 網 設 備	○						
構 内 交 換 設 備	○						
情 報 表 示 装 置							
映 像 ・ 音 響 設 備							
拡 声 設 備							
誘 導 支 援 装 置	○						
テ レ ビ 共 同 受 信 設 備	○						
テ レ ビ 電 波 障 害 調 査							
防 災 設 備	○						
防 犯 設 備							
中 央 監 視 制 御 設 備							
雷 保 護 設 備							
屋 外 設 備							
建 築 工 事							
機 械 設 備 工 事							

II 工 事 仕 様

1. 共 通 事 項

(1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」（以下「標準仕様書」という）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和4年版」（以下「標準図」という）による。

ただし、改修工事に関しては「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」（以下「改修標準仕様書」という）による。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2. 特 記 事 項

(1) 章及び項目は、番号に○印のついたものを適用する。

(2) 特記事項は、○ 印を適用する。

○ 印の無い場合は、* 印のあるものを適用する。

○ 印と ⊕ 印のある場合はともに適用する。

章 項 目

特 記 事 項

1 適用基準等

○ 消防用設備等の技術基準（第8次改訂版）
(全国消防長会中国支部編)

○ 公共施設用照明器具（2019年版）
(一般社団法人日本照明工業会)

* 営繕工事写真撮影要領（平成28年版）による
工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編 平成30年版
一般社団法人公共建築協会 編集
国土交通省大臣官房官庁営繕部 監修

2 機材の品質等

本工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JISマーク表示のない機材及びその製造者等は、次の1）～6）の事項を満たすものとする。

ただし、使用量の少ないもの、簡易な機材又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1）～6）を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。

1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。

2）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

3）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

4）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。

5）安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。

6）材料及び接着剤等のホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする。

なお、商品名が記載された機材については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

また、これらの機材を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。

ただし、一般社団法人公共建築協会編集・発行の「建築材料・設備等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（最新版）」及び「同設備機材等評価名簿（最新版）」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。

3 環境への配慮

本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和5年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準を満たすものとする。

4 契約種別等

・ 業務用電力 変圧器容量 電灯 kVA
動力 kVA
計 kVA

・ 低圧電力

・ 従量電灯A ○ 従量電灯B ・ 定額電灯

5 電気保安技術者

工事現場におく電気保安技術者は、電気工作物の保安の業務を行うものとする。

章 項 目

特 記 事 項

6 電気工事士

最大電力500kW以上の場合においても、第一種電気工事士により施工を行う。

7 現場事務所

・ 設置できる
(・ 敷地内 ・ 敷地外 (設置可能場所：))

・ 設置できない

8 工事用電力、水

構内既存の施設
工事用水 ・ 利用できる (有償) ○ 利用できない
工事用電力 ・ 利用できる (有償) ○ 利用できない

9 発生材の処理

・ 引き渡しを要するもの
()

・ 現場において再利用を図るもの
()

産業廃棄物の処理及び再資源化を図るものは下記による。

項 目	品 目	搬 出 場 所	距離 (Km)	D I D 区間 (有・無)	処分費 (有・無)	備 考 (再資源化 の有無等)
特定建設資材	・ コンクリート塊					有
	・ アスファルト塊					有
	・ コンクリート及び鉄から成る建設資材					有
	・ 木材					有
特別管理産業廃棄物	・ PCB使用機器					
	・ 石綿含有建材					
	・ 廃蛍光灯等					
その他	・ 金属くず					
	・ 廃ブラ					

・ PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。

・ 撤去品の変圧器等は製造年、品番等を確認し微量PCB分析の要否を判定する。

・ 撤去品の微量PCB分析を行う。()

・ 石綿含有建材は関係法令等に従い適切に処理する。

・ 撤去する石綿含有建材は機器の製造年、品番等を確認し石綿含有分析の要否を判定する。

・ ガス絶縁開閉器、ガス絶縁変圧器等受電機器に含まれる六フッ化硫黄（SF6）ガスは、製造者又はガス回収業者に回収を委託し、再使用又は再資源化する。

名 称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等
交通誘導員A		
交通誘導員B		
交通整理員		

(注) 交通誘導員A、Bは警備業法に定める警備員とし、交通整理員については資格を問わない。
取扱いは「建築工事における交通誘導員等の取扱い基準」（営繕課HP掲載）による

10 交通安全管理

以下のとおり、交通の誘導に係る業務に従事する者を配置すること。配置する位置は別に図示する。

名 称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等
交通誘導員A		
交通誘導員B		
交通整理員		

(注) 交通誘導員A、Bは警備業法に定める警備員とし、交通整理員については資格を問わない。
取扱いは「建築工事における交通誘導員等の取扱い基準」（営繕課HP掲載）による

11 工事写真

下記のものを提出する。
仕様は、島根県建築工事写真取扱要領による。

区 分	分 類	サイズ (mm)	提出部数
工 事 中 写 真 (着工前含)	* カラー	* 80×120 程度	2 部
完成写真	* カラー	外部全景 * 120×170 程度 その他 * 80×120 程度	2 部
電子データ (CD-R等)	デジタルカメラを使用した場合は、工事中写真及び完成写真のデータを記録したCD-R等を提出する。		2 部

(注) フィルムカメラを使用する場合は監督職員と協議する。

12 完成図

下記のものを、竣工後15日以内に提出する。
仕様は、島根県建築工事完成図取扱要領による。

品 名 ・ 仕 様		提出部数
* 竣工図		3 部
製本サイズ (* A3縮小版 ・ 原図サイズ) 白焼 表装 (* レザック表紙 (ラミネート仕上))		
* 施工図 (構造躯体図、設備の配管配線図、監督職員が指示する図面) 製本サイズ (* A3縮小版 ・ 原図サイズ) 白焼 表装 (* レザック表紙 (ラミネート仕上))		3 部
* 電子データ (PDFデータ、CADデータ、施工図) (CD-R等)		1部

製本の取りまとめについては監督職員の指示による。
設計に関するCADデータを貸与するが、著作権者は、津和野町にある。なお、貸与されたデータは、当該工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。
○ 竣工図と施工図を1冊にまとめる。

13 保全に関する資料

書 類 名

提出部数

建築物等の利用に関する説明書
(建築物等の利用に関する説明書作成要領による)

機器取扱い説明書
機器性能試験成績書
官公署届出書類一覧

その他監督職員が指示するもの

建築物等の利用に関する説明書の電子データ (CD-R等)

* 1部

・ 1部

* 1部

14 情報共有システム

「島根県営繕工事等情報共有システム実施要領」に基づき、情報共有システムを利用した場合は、情報共有システムで処理を行った書式一式を、工事完成時に電子媒体 (CD-R等) で納品することを基本として受発注者間協議により決定する。

15 提出書類

竣工検査までに下記のを1部提出する。
○ 絶縁抵抗測定結果
○ 接地抵抗測定結果
○ 機器試験成績表
・ テレビ端子出力レベル測定結果
・ LANケーブル伝送品質測定結果
○ 一般用照明照度測定結果 (各室について3カ所程度)
測定高さは (事務室 FL+800、廊下等 FL+0) とする
○ 非常用照明照度測定結果 (各室について2カ所程度)
測定高さは床面とする

特 記

日 付

令和7年12月15日

設計番号

2402

工事名称

図面名称

津和野伝統的建造物群保存地区防災施設整備工事

電気設備工事仕様書 1

図面番号

E-1

縮 尺

—

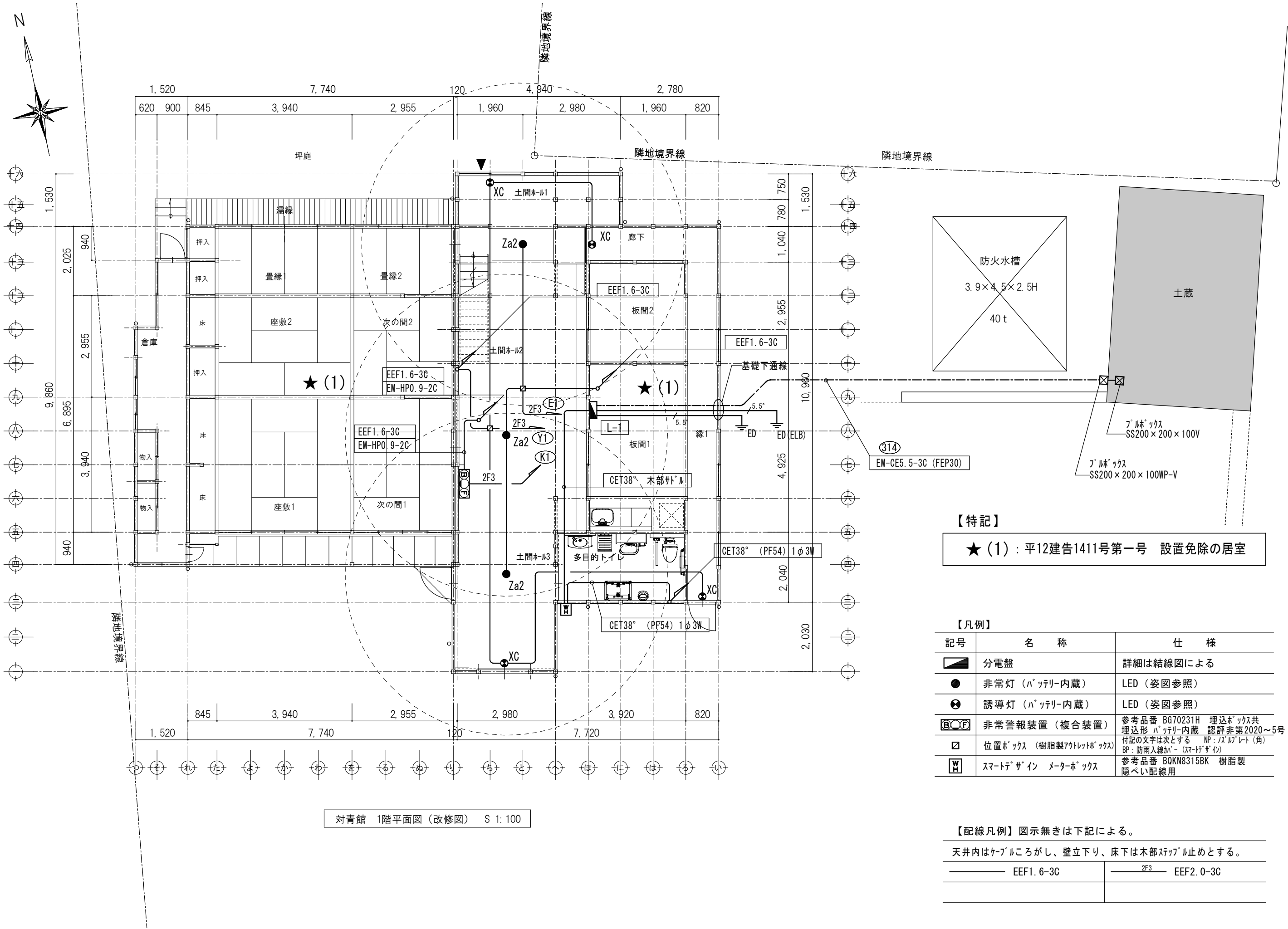
[illegible]

	特記	日付 令和7年12月15日	工事名称 津和野伝統的建造物群保存地区防災施設整備工事	図面番号 E-2
		設計番号 2402	図面名称 電気設備特記仕様書 2	
			縮尺 —	

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項										
	9 感熱表示ラベル	導電部の接続端子近辺には不可逆性の感熱表示ラベルを貼付する。 （変圧器の2次側端子、低圧盤1次側母線）		6 原 動 機	（ ）kW以上 ・ ディーゼル ・ ガスエンジン ・ ガスタービン	⑤ 光 源	A マルチサイン設備	・ LED式（ ・ 4色 ・ フルカラー ） ・ 液晶式										
	10 高調波計算書	機器承諾図提出前に高調波流出電流を計算し、監督職員に提出する。		7 連続運転時間	（ ）時間以上				6 コンセントプレート	・ シール等により商用系、自家発系を明示すること。 ・ OAタップについては回路番号を明示すること。	1 情報表示盤							
	11 予 備 品 等	標準仕様書によるほか下記による。 ヒューズ類（種別ごとに下記の数量とする） ・ 現用数 ・ 現用数の20%（1個以上） ABC10型消火器（屋外は樹脂製の箱入りとする） 主回路接続図（透明ケース入り）		8 運 転 音	機器、排気管及び排風ダクトより1mの位置での運転音 ・ 105dB（A） ・ 85dB（A） ・ 75dB（A）	6 動力設備	1 電気方式	三相3線式	C 時刻表示設備	1 出退表示盤	・ LED式（ ・ 2モード ・ 4モード ） ・ 液晶式							
3 電力貯蔵設備	1 用途	・ 非常用照明（建築基準法） ・ 受変電設備用	9 保守運転	自動	2 電源を必要とする機器							・ 空調設備 ・ 換気設備 ・ 給排水設備 ・ 浄化設備 ・ 消火設備 ・ 厨房設備 ・ 給湯設備 ・ 排煙設備 ・ エレベータ設備 ・ コンセント ・ 建築関係設備 ・ 備品関係設備	1 親時計	水晶式（週差0.7秒以下）				
	2 蓄電池	・ HS型鉛蓄電池 ・ MSE型鉛蓄電池 ・ 長寿命MSE型鉛蓄電池 ・ リチウム二次電池 ・ ニッケル・カドミウムアルカリ電池	10 燃料系統	・ 本工事 ・ 別途工事（ ）											3 監視	・ 警報盤 ・ 中央監視盤（別途工事）に接続	2 子時計	・ 壁掛形 ・ 埋込形 ・ 吊下形 ・ スピーカ組込 ・ アナログ式 ・ デジタル式
	3 予 備 品 等	標準仕様書によるほか下記による。 主回路接続図（透明ケース入り）	11 防災電源	建築基準法及び消防法に係る発電装置は、関係法令に適合している旨の試験成績書等を監督職員に提出する。														
B 交流無停電電源装置（UPS）		12 予 備 品 等	標準仕様書によるほか下記による。 ABC10形消火器 1本（屋外は樹脂製の箱入りとする）	5 機器への接続	本工事 ・ 別途工事	10 映像・音響設備	1 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器取付										
1 方式	・ 常時インバータ給電方式（ ・ 簡易型） ・ ラインインタラクティブ方式 ・ 常時商用給電方式	B 太陽光発電							⑦ 構内情報通信網設備	① 工事範囲	① 配管 ② 配線 ③ 端子盤等取付 ③ 機器収納ラック等取付 ・ 情報通信機器取付	2 対象室名	・ ・					
2 定格出力	（ ）kVA	1 公称最大出力	（ ）kW以上 （日射強度 kW/m ² , 25℃, AM1.5）											8 構内交換設備	① 工事範囲	① 配管 ② 配線 ③ 端子盤取付 ・ 機器取付	3 増幅器	L○形増幅器とする。
3 停電補償時間	（ ）分（定格出力運転時）	2 耐風速	建築基準法施行令第87条の規定による風圧力に耐えるものとし、強度計算書を監督職員に提出する。	② 交換機	② 交換機	② 別途工事 ・ 既存交換機改修	4 プロジェクター	・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 広角型（ワイド型） ・ 標準型 投写方式 ・ 前面投写式 ・ 背面投写式										
4 予 備 品 等	標準仕様書によるほか下記による。 主回路接続図（透明ケース入り）但し、簡易形は除く	3 系統連系	・ 行う ・ 行わない 系統連系を行う場合は、「系統連系技術要件ガイドライン」を満足すること。						③ 電話機	③ 電話機	・ 本工事 ③ 別途工事 ・ 固定電話 ・ デジタルコードレス電話	5 スクリーン	・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 広角型（ワイド型） ・ 標準型 ・ 手動巻上式 ・ 電動巻上式（ ・ 無線 ・ 有線 ）					
4 発電設備	A 非常用発電		4 パワーコンディショナー											出力 相 線式 V 定格容量 kW 自立運転機能 ・ 有り ・ 無し	④ 保安器用接地	④ 保安器用接地	④ 本工事 ・ 別途工事	6 映像・音響設備
	2 用途	・ 消防設備負荷 ・ 建築基準法関連負荷 ・ 一般負荷	5 売電	・ 行う ・ 行わない	⑤ 保安器箱	⑤ 保安器箱	・ 埋込形 ⑤ 露出形（ポリ台）											
	3 使用燃料	・ 灯油 ・ 軽油 ・ A重油 ・ ガス	6 太陽電池モジュール出力保証	保証期間開始日は引渡し日とする。														
4 形式	・ 屋内形 ・ 屋外形 ・ 配電盤別置形 ・ 配電盤搭載形（オープン形） ・ 配電盤搭載形（キュービクル形）	⑤ 電 灯 コ ン セ ン ト 設 備	① 電気方式	① 幹線 単相3線式 200/100V ① 分岐 単相2線式（ ・ 100V ②200V ） ・ 分岐 直流2線式 100V														
5 発電機	（ ）kVA以上	② 配線器具	スイッチ、コンセントは大角形とする。 2連以上スイッチは、ネーム付とする。 床コンセント ・ アップ式 ・ フロア形 コンセント容量20A以上、3P以上、防水形はプラグを付ける。 接地極付コンセント（2P15A（E））及び防雨形コンセントのプラグは不要とする。															
		③ 非常用照明器具	③ 電池内蔵型 ・ 電源別置形															
		④ 照明制御	④ 人感センサー制御 ・ 外光（昼光）利用 ・ 初期照度補正 ・ 段階調光 ・ 連続調光 設計照度はJISによる。															

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
11 拡 声 設 備	1 放 送 設 備	・ 一般用 ・ 非常一般兼用	14 テ レ ビ 電 波 障 害 調 査	1 調 査 仕 様	図面に記載されていない事項は全て（一社）日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ電波障害調査要領」による。	16 防 犯 設 備	1 工 事 範 囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器取付	19 そ の 他	機 器 取 付 高	機器の取付高は、下表を標準とする。ただし、監督職員の指示により変更することがある。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	2 増 幅 器	H i 形増幅器 （ W 局）		2 調 査 機 関	テレビ電波障害の調査は、（一社）日本CATV技術協会による。		2 警 戒 方 式	・ 監視カメラ ・ センサー ・ 別途機械警備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	3 形 式	・ ラック形 ・ 卓上型 ・ 壁掛形		3 調 査 内 容	・ 事前調査 ・ 中間調査 ・ 事後調査		3 監視カメラ	・ 旋回装置 ・ モニタ装置 ・ 録画装置 伝送方式 ・ デジタル同軸伝送方式 ・ ネットワーク ・ アナログ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	4 ス ピ ー カ	一般放送のスピーカは図面に特記なき場合は下記による。 壁掛け形 SW1 H i - 3 V O 天井埋込形 SC6 H i - 1 (3) V 3 M 非常放送の場合は消防法適合品とし、形状は一般放送と同様とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	5 放 送 回 路	時報及び自動放送（体操放送等）は音量調節器を経由した回路とする。（一斉放送回路は使用しない）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	6 接 続	卓上型増幅器の場合、増幅器と外部配線（壁ボックス等）の接続は、コネクターによる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
12 誘 導 支 援 装 置	1 音声誘導装置	検出部 ・ 磁気式 ・ 無線式 ・ 画像認識 案内表示部 ・ 音声 ・ 音響	15 防 災 設 備	A 火災報知設備等	① 種 別	① 種 別	1 受雷部システム	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体	動力	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤	端子盤

[illegible]



対青館 1階平面図（改修図） S 1: 100

【特記】

★（１）：平12建告1411号第一号 設置免除の居室

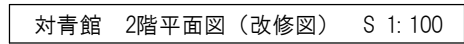
【凡例】

記号	名 称	仕 様
	分電盤	詳細は結線図による
	非常灯（ハッテリー内蔵）	LED（姿図参照）
	誘導灯（ハッテリー内蔵）	LED（姿図参照）
	非常警報装置（複合装置）	参考品番 BG70231H 埋込ボックス共 埋込形 ハッテリー内蔵 認評非第2020～5号 付記の文字は次とする NP：バレット（角） BP：防雨入線カバー（スマートサイン）
	位置ボックス（樹脂製アウトレットボックス）	
	スマートデザイン メーターボックス	参考品番 BQKN8315BK 樹脂製 隠ぺい配線用

【配線凡例】 図示無きは下記による。

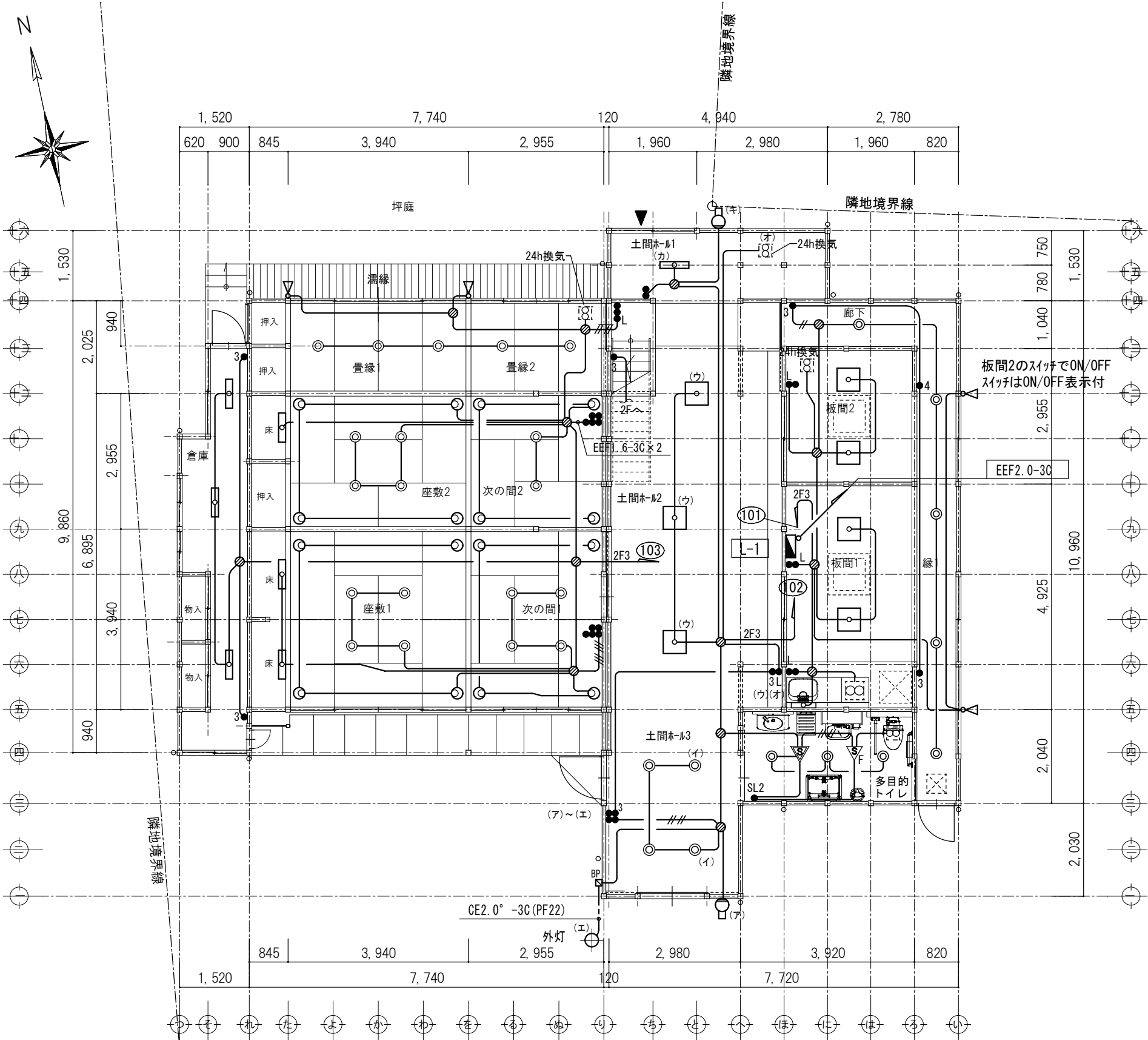
天井内はケーブルろがし、壁立下り、床下は木部スッパ止めとする。

EEF1.6-3C	2F3 EEF2.0-3C
-----------	---------------



特 記	日 付 令和7年12月15日	工事名称 津和野伝統的建造物群保存地区防災施設整備工事	図面番号 E-7
	設計番号 2402	図面名称 対青館 幹線・非常灯・誘導灯・非常警報設備2階配線図（改修図） 縮尺 1：100	

A	参考：XLX200NELC LE9			B	LSS9-2-30LN			C1	参考：XL663PFTJ LA9 □400			D	参考：XAD5161L CC1			E	参考：XAD3441L CB1																																																										
	電球色3000K 消費電力6w 光束720lm				昼白色5000K 消費電力21.8w 光束3200lm				電球色3000K 消費電力19w 光束2240lm				電球色2700K 消費電力9.9w 光束890lm				電球色2700K 消費電力8.4w 光束630lm																																																										
<div></div> <div>定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 電源装置はライトバー側に内蔵</div>				<div></div> <div>定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 電源装置はライトバー側に内蔵</div>				<div></div> <div>定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛銅板 枠：銅板（高反射白色粉体塗装） パネル：アクリル（乳白） 光束維持時間：40000時間（光束維持率85%）</div>				<div></div> <div>電圧100V 枠：銅板（ブラックつや消し） 集光タイプ、高気密SB形、位相制御式（2線式） 光源寿命40000時間（光束維持率70%）</div>				<div></div> <div>電圧100V 枠：アルミダイカスト（ブラックつや消し） 拡散タイプ、高気密SB形、首振範囲30度、不燃シート付 位相制御式（2線式） 光源寿命40000時間（光束維持率70%）</div>																																																											
F	参考：LGD6201L LE1			G	参考：LGB52085 LE1			H	参考：LGW40180 LE1			I	参考：LGW85082F			J	参考：LGWJ56561BF																																																										
	電球色2700K 消費電力15.3w 光束1390lm				昼白色5000K 消費電力12w 光束980lm				電球色2700K 消費電力5.9w 光束426lm				電球色2700K 消費電力4.3w 光束274lm				電球色2700K 消費電力4.3w 光束208lm																																																										
<div></div> <div>電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠：アルミダイカスト（ホワイトつや消し）</div>				<div></div> <div>電圧100V 拡散タイプ、天井直付型・壁直付型 カバー：プラスチック（乳白） タッチレススイッチ付</div>				<div></div> <div>電圧100V 拡散タイプ アルミダイカスト（オフブラック） パネル：ガラス（透明） 照射方向可動型、可動範囲上下90度 回転方向330度</div>				<div></div> <div>電圧100V カバー：アクリル（乳白）、木製（検）</div>				<div></div> <div>電圧100V 明るさセンサ付、地中埋込型 パネル：アクリル（乳白）、アルミダイカスト（オフブラック） 光源寿命40000時間（光束維持率70%）</div>																																																											
K	参考：XLGE1121 CE1							XC	SH1-FSF20-C 評定番号 1AS111-3618			Za2	K1-LRS11-2 非常灯評定番号 LALE-004			Zb2	参考：NNFB91405C 非常灯評定番号 LALE-004																																																										
	電球色2700K 消費電力7.7w 光束710lm								LED1.1W（電池内蔵）C級 片面				LED1.0W（電池内蔵）埋込 低天井用				LED1.0W（電池内蔵）埋込 低天井用																																																										
<div></div> <div>電球色（2700K）、Ra83 器具光束710lm、消費電力7.7W、電圧100V 集光タイプ、防雨型、ネジ込み方式 アルミダイカスト（オフブラック） パネル：アクリル（透明） 可動範囲上下110度、回転方向330度</div>								<div></div> <div>誘導灯 C級 片面</div>				<div></div> <div>K0143780 保守率:0.92<table><tr><td>取付け高さ</td><td></td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td><td>3.5m</td><td>4.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>4.6</td><td>4.7</td><td>4.9</td><td>4.6</td><td>3.3</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A2</td><td>10.2</td><td>10.8</td><td>11.9</td><td>12.9</td><td>12.9</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>8.2</td><td>8.7</td><td>9.6</td><td>10.7</td><td>11.7</td></tr></table></div>				取付け高さ		2.4m	2.6m	3.0m	3.5m	4.0m	単体配置	A1	4.6	4.7	4.9	4.6	3.3	直線配置	A2	10.2	10.8	11.9	12.9	12.9	四角配置	A4	8.2	8.7	9.6	10.7	11.7	<div></div> <div>K0143780 保守率:0.92<table><tr><td>取付け高さ</td><td></td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td><td>3.5m</td><td>4.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>4.6</td><td>4.7</td><td>4.9</td><td>4.6</td><td>3.3</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A2</td><td>10.2</td><td>10.8</td><td>11.9</td><td>12.9</td><td>12.9</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>8.2</td><td>8.7</td><td>9.6</td><td>10.7</td><td>11.7</td></tr></table></div>				取付け高さ		2.4m	2.6m	3.0m	3.5m	4.0m	単体配置	A1	4.6	4.7	4.9	4.6	3.3	直線配置	A2	10.2	10.8	11.9	12.9	12.9	四角配置	A4	8.2	8.7	9.6	10.7	11.7
取付け高さ		2.4m	2.6m	3.0m	3.5m	4.0m																																																																					
単体配置	A1	4.6	4.7	4.9	4.6	3.3																																																																					
直線配置	A2	10.2	10.8	11.9	12.9	12.9																																																																					
四角配置	A4	8.2	8.7	9.6	10.7	11.7																																																																					
取付け高さ		2.4m	2.6m	3.0m	3.5m	4.0m																																																																					
単体配置	A1	4.6	4.7	4.9	4.6	3.3																																																																					
直線配置	A2	10.2	10.8	11.9	12.9	12.9																																																																					
四角配置	A4	8.2	8.7	9.6	10.7	11.7																																																																					



対青館 1階平面図（改修図） S 1: 100

濡縁		土間外		縁の外部 底下	
H	2	I	1	K	2

畳縁1		畳縁2		土間ホール1		縁1	
D	3	D	2	B	1	F	5

座敷2		次の間2		土間ホール2		板間2	
D	4	D	2	C5	3	C3	2
E	4	E	4				

座敷1		次の間1		板間1	
D	4	D	4	C4	2
E	4	E	4	G	1

床		玄関・土間ホール3		多目的トイレ	
A	3	D	4	F	3

倉庫		外灯		玄関外	
A	3	J	1	I	1

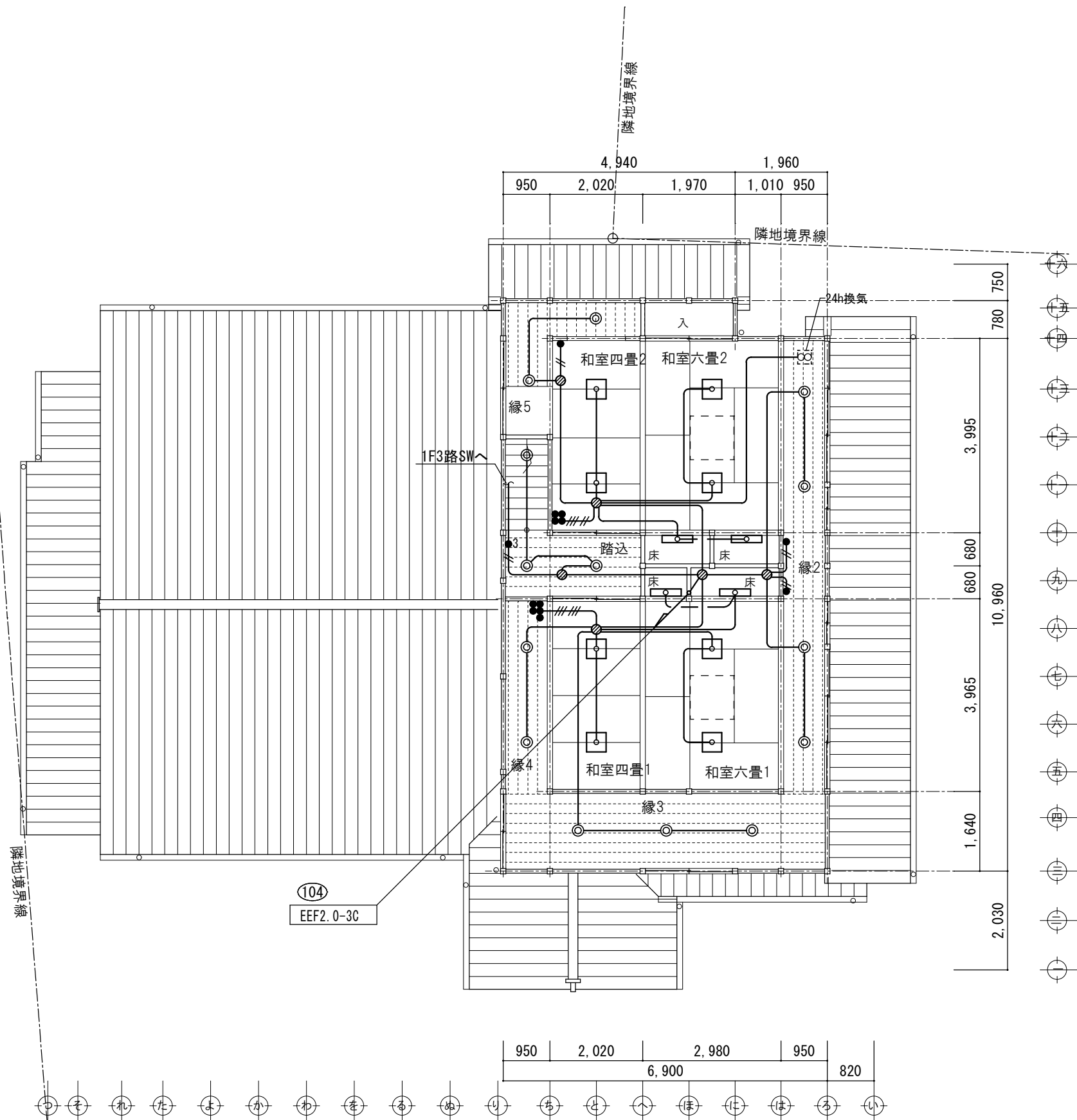
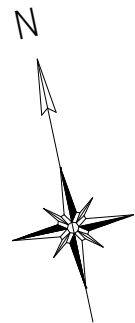
【凡例】

記号	名 称	仕 様
●	ワイドスイッチ OFF表示付	プッシュON/OFF (ワイドスクエアプレート)
● _{3or4}	ワイドスイッチ 3路 表示付スイッチ ワイドスイッチ 4路 表示付スイッチ	100V 0.5A (ワイドスクエアプレート)
● _L	ワイドスイッチ ON/OFF表示付スイッチ	100V 0.5A (ワイドスクエアプレート)
▽	熱線センサ自動スイッチ (親器)	100V 8A 広角検知 天井取付 パナソニックWTK24818
▽ _F	熱線センサ自動スイッチ (子器)	換気扇連動 天井取付 動作時間可変形 パナソニックWTK29318
● _{SL2}	熱線センサ操作ユニット	100V15A 切ー自動ー連続 (2回路) 壁取付
□	位置ボックス (樹脂製アウトレットボックス)	付記の文字は次とする NP: ノズルプレート (角) BP: 防雨入線カバー (スマートデザイン)
⊙	Fケーブル用ジョイントボックス	透明

【配線凡例】 図示無きは下記による。

天井内はケーブルころがし、壁立下り、床下は木部ステップ止めとする。

——//——	EEF1. 6-2C	—— _{2F3} ——	EEF2. 0-3C
————	EEF1. 6-3C	——//——	EEF1. 6-2C×2
——//——	EEF1. 6-2C×2	——//——	EEF1. 6-2C+1. 6-3C
——//——	EEF1. 6-2C+1. 6-3C		
——//——	EEF1. 6-3C+1. 6-3C		



縁5	
F	2

和室四畳2		和室六畳2	
C1	2	C2	2

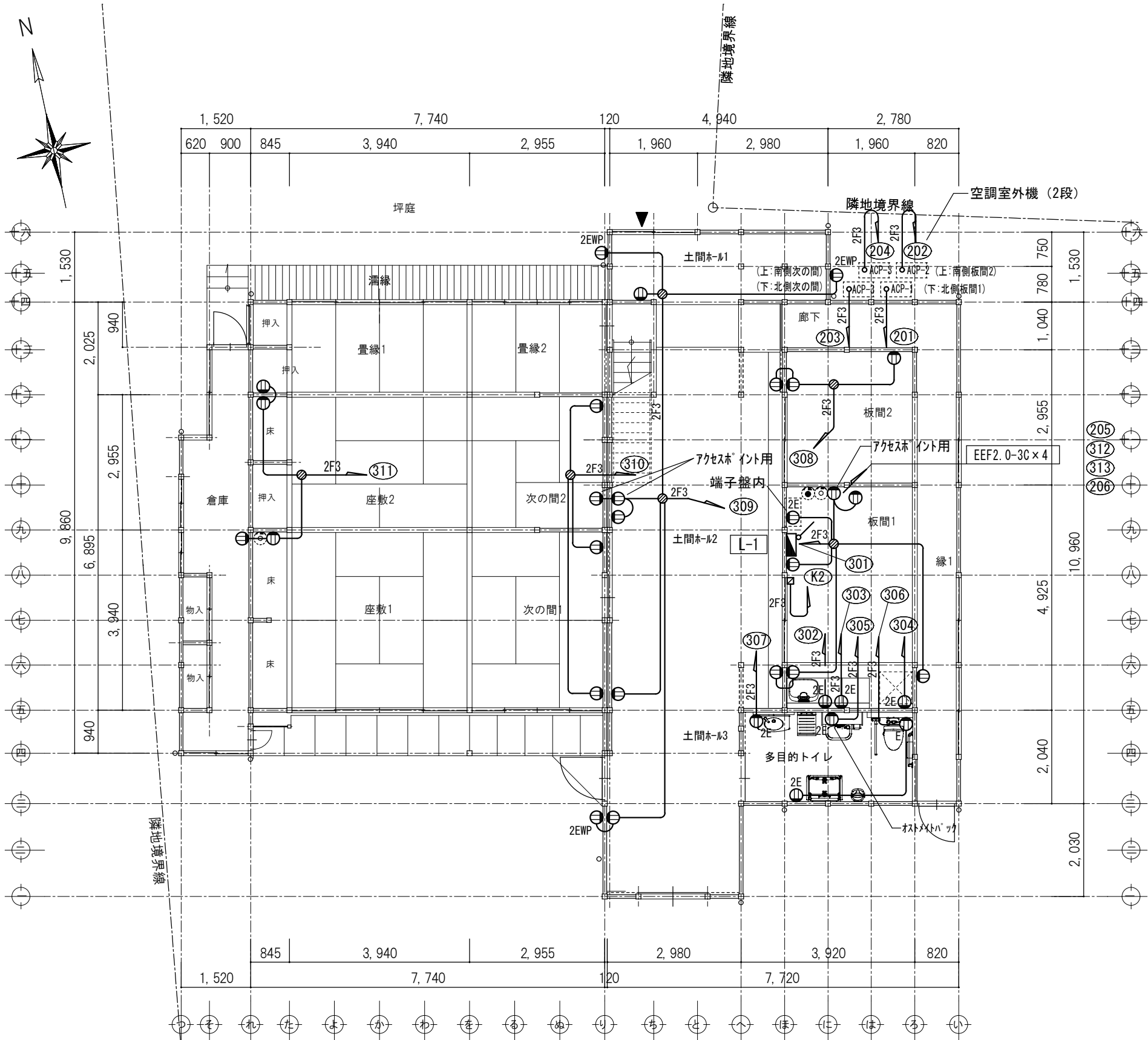
階段・踏込		床	
F	3	A	4

和室四畳1		和室六畳1	
C1	2	C2	2

縁4		縁3	
F	2	F	3

縁2	
F	4

対青館 2階平面図（改修図） S 1: 100



対青館 1階平面図（改修図） S 1: 100

【凡例】

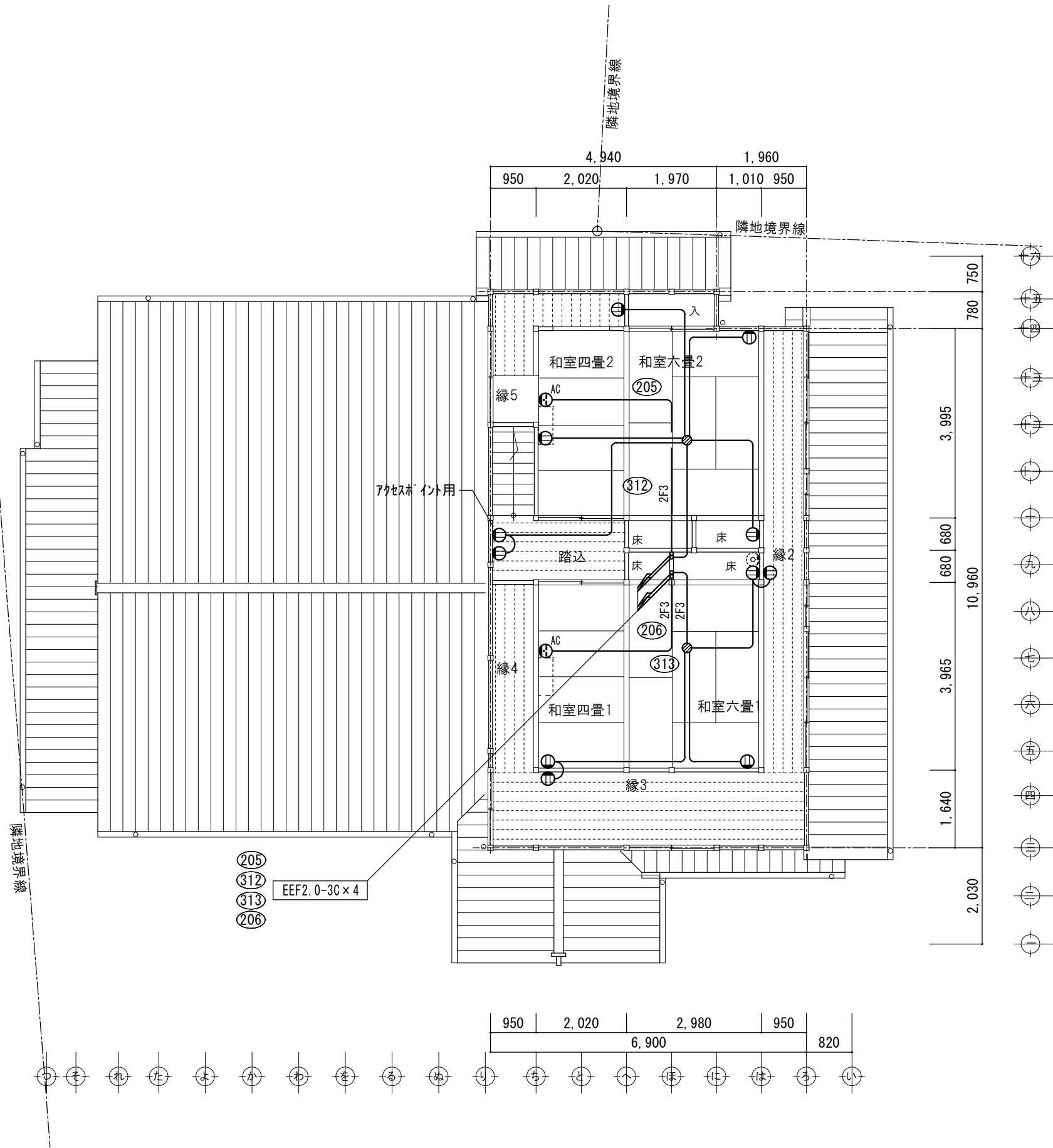
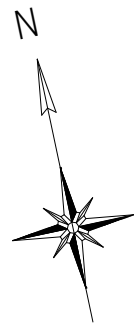
記号	名 称	仕 様
	コンセント（図示なきは2口とする）	2P15Ax2（ホワイトスクエアプレート）
	接地極付コンセント	2P15Ax2 E（ホワイトスクエアプレート）
	接地極付コンセント	2P15A, Ex2（ホワイトスクエアプレート）
	防水コンセント（スマートデザイン）	2P15, Ex2 ET付 パナソニック WK4602 色は打合せによる
	エアコン用 接地極付コンセント	2P15/20A, E（ホワイトスクエアプレート）
	200VEエアコン用 接地極付コンセント	2P15/20A, E 250V（ホワイトスクエアプレート）
	位置ボックス（樹脂製アウトレットボックス）	付記の文字は次とする NP：ノックプレート（角） BP：防雨入線カバー（スマートデザイン）
	Fケーブル用ジョイントボックス	透明

【配線凡例】図示無きは下記による。

天井内はケーブルころがし、壁立下り、床下は木部スタッフル止めとする。

	EEF2.0-2C		EEF2.0-3C
	EEF1.6-2C		EEF1.6-3C

※エアコン電源の屋外配線は冷媒用化粧カバーに通線する。

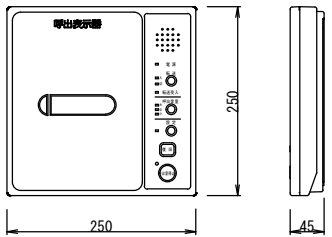
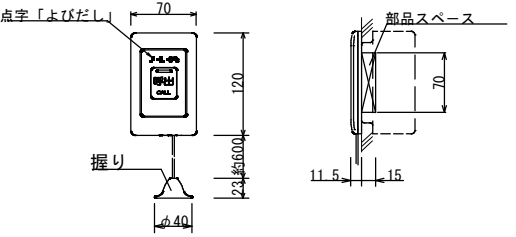
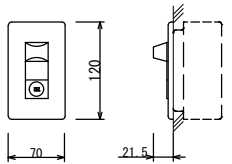
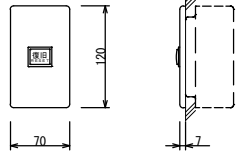


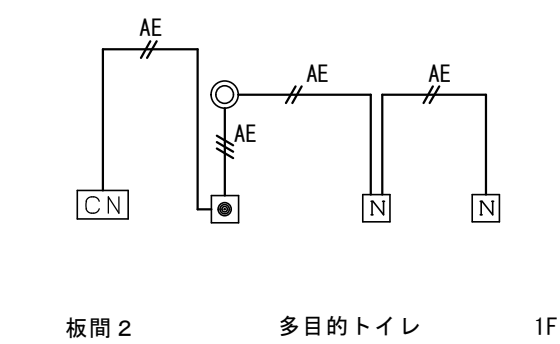
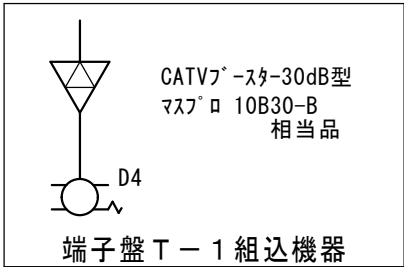
対青館 2階平面図 (改修図) S 1: 100

	特 記	日 付	工事名称	図面番号
		令和7年12月15日	津和野伝統的建造物群保存地区防災施設整備工事	E-12
		設計番号 2402	図面名称 対青館 コンセプト設備 2階平面図 (改修図) 縮尺 1 : 100	

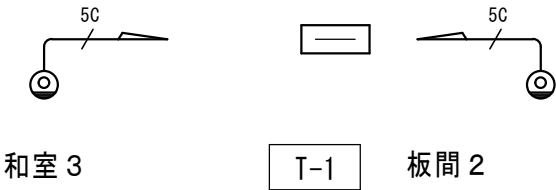
	【端子盤構成表】
情 報	T-1（露出形） LANケーブル通線スペース
電 話	端子台 10Pスペース
テレビ共聴	ブースター×1（30dB） 4分配×1
その他機器	コンセント2P15A.E×2 ×1個
参考BOXサイズ	W 644×H 325×D 124 樹脂製ボックス 日東 HJD-6432相当品

【トイレ呼出し表示器姿図】 ※ケアコム参考品番と同等品とする

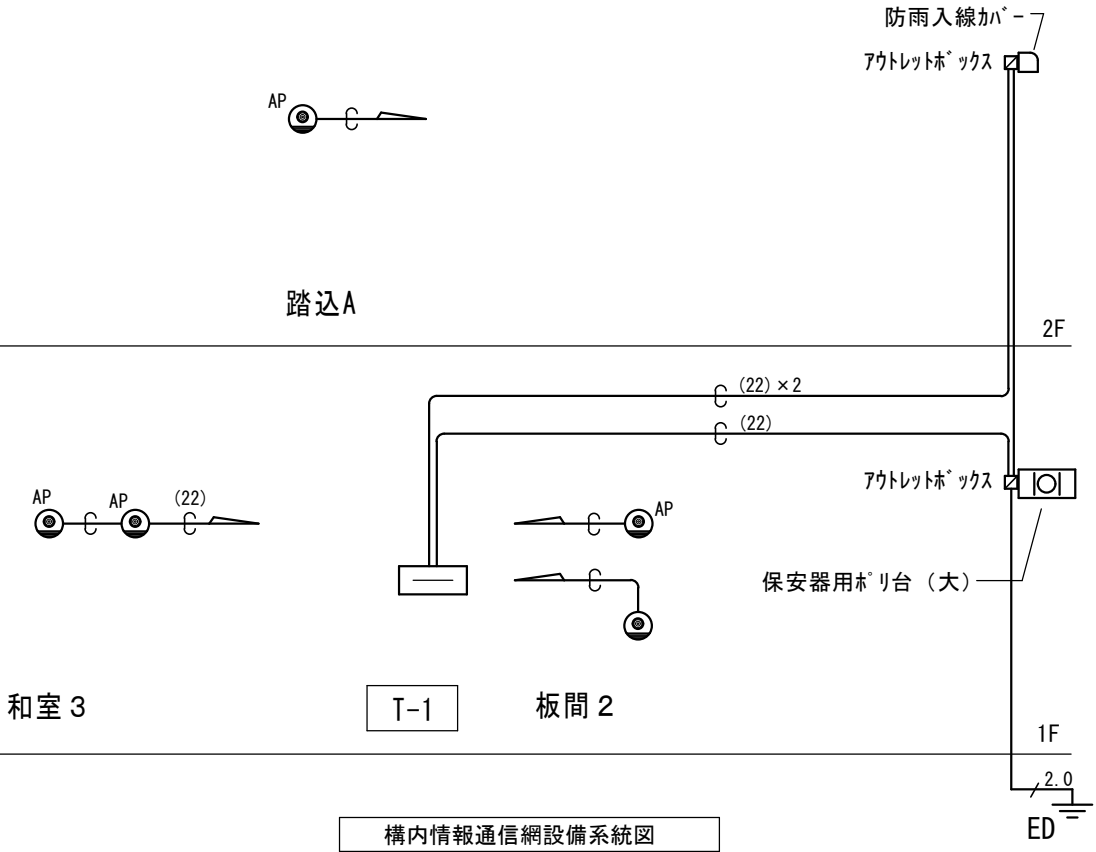
CN	呼出表示器（1窓）壁掛形 IRP-1B	N	トイレ呼出押ボタン（ひも付） BT-312ZR	◎	プザ-付表示灯 BL-644U/8	●	復旧ボタン BR-302RAU																																										
																																																	
<table><tr><td>形 状</td><td>壁掛形</td></tr><tr><td>材 質</td><td>カバー、ケース：AES樹脂、シャーシ：銅板製</td></tr><tr><td>呼出表示灯</td><td>LED（赤）</td></tr><tr><td>呼出音</td><td>電子メロディー（8種）／トレモロ音／チャイム音</td></tr><tr><td>呼出種別</td><td>一般呼出、緊急呼出</td></tr><tr><td>操作スイッチ</td><td>ノンロック式</td></tr><tr><td>電 源</td><td>AC-GC100V 50／60Hz、最大14W（待機時2W）</td></tr><tr><td>備 考</td><td>バラ表示／転送受入機能</td></tr></table>		形 状	壁掛形	材 質	カバー、ケース：AES樹脂、シャーシ：銅板製	呼出表示灯	LED（赤）	呼出音	電子メロディー（8種）／トレモロ音／チャイム音	呼出種別	一般呼出、緊急呼出	操作スイッチ	ノンロック式	電 源	AC-GC100V 50／60Hz、最大14W（待機時2W）	備 考	バラ表示／転送受入機能	<table><tr><td>形 状</td><td>壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）</td></tr><tr><td>プレート／握り</td><td>抗菌樹脂</td></tr><tr><td>確認灯</td><td>LED（赤）</td></tr><tr><td>呼出ボタン</td><td>ノンロック式</td></tr><tr><td>点 字</td><td>よびだし</td></tr><tr><td>備 考</td><td>JIS C-0920 1Px5（防噴流形）適合</td></tr></table>		形 状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）	プレート／握り	抗菌樹脂	確認灯	LED（赤）	呼出ボタン	ノンロック式	点 字	よびだし	備 考	JIS C-0920 1Px5（防噴流形）適合	<table><tr><td>形 状</td><td>壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）</td></tr><tr><td>プレート</td><td>樹脂プレート 1個用</td></tr><tr><td>表示灯</td><td>LED（赤）</td></tr><tr><td>アラーム音</td><td>65dB（距離1m）、背面ボリュームで可変</td></tr></table>		形 状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）	プレート	樹脂プレート 1個用	表示灯	LED（赤）	アラーム音	65dB（距離1m）、背面ボリュームで可変	<table><tr><td>形 状</td><td>壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）</td></tr><tr><td>プレート</td><td>樹脂プレート 1個用</td></tr><tr><td>復旧スイッチ</td><td>ノンロック式</td></tr></table>		形 状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）	プレート	樹脂プレート 1個用	復旧スイッチ	ノンロック式
形 状	壁掛形																																																
材 質	カバー、ケース：AES樹脂、シャーシ：銅板製																																																
呼出表示灯	LED（赤）																																																
呼出音	電子メロディー（8種）／トレモロ音／チャイム音																																																
呼出種別	一般呼出、緊急呼出																																																
操作スイッチ	ノンロック式																																																
電 源	AC-GC100V 50／60Hz、最大14W（待機時2W）																																																
備 考	バラ表示／転送受入機能																																																
形 状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）																																																
プレート／握り	抗菌樹脂																																																
確認灯	LED（赤）																																																
呼出ボタン	ノンロック式																																																
点 字	よびだし																																																
備 考	JIS C-0920 1Px5（防噴流形）適合																																																
形 状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）																																																
プレート	樹脂プレート 1個用																																																
表示灯	LED（赤）																																																
アラーム音	65dB（距離1m）、背面ボリュームで可変																																																
形 状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）																																																
プレート	樹脂プレート 1個用																																																
復旧スイッチ	ノンロック式																																																



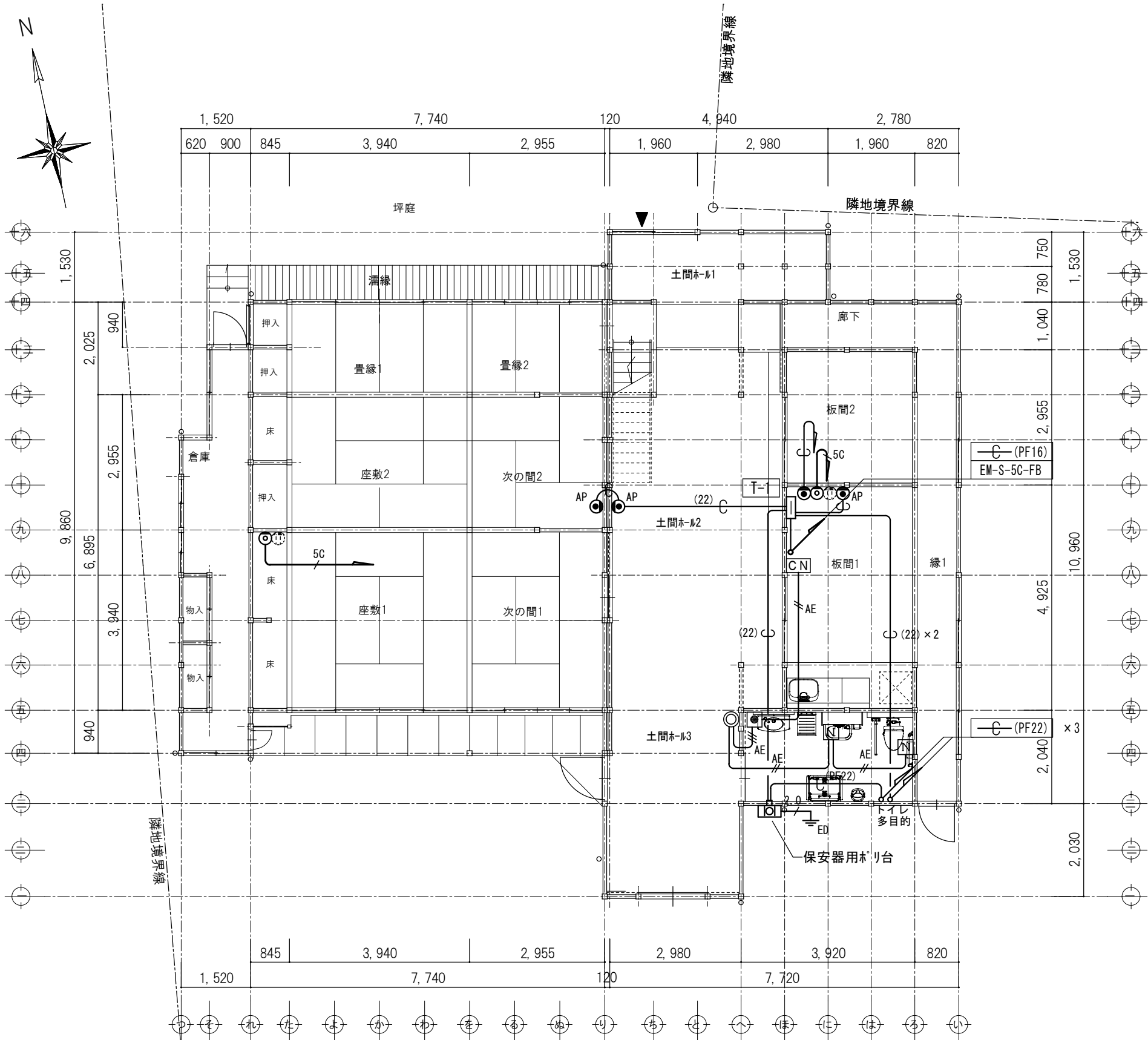
トイレ呼出設備系統図



テレビ共同受信設備系統図



構内情報通信網設備系統図



対青館 1階平面図（改修図） S 1: 100

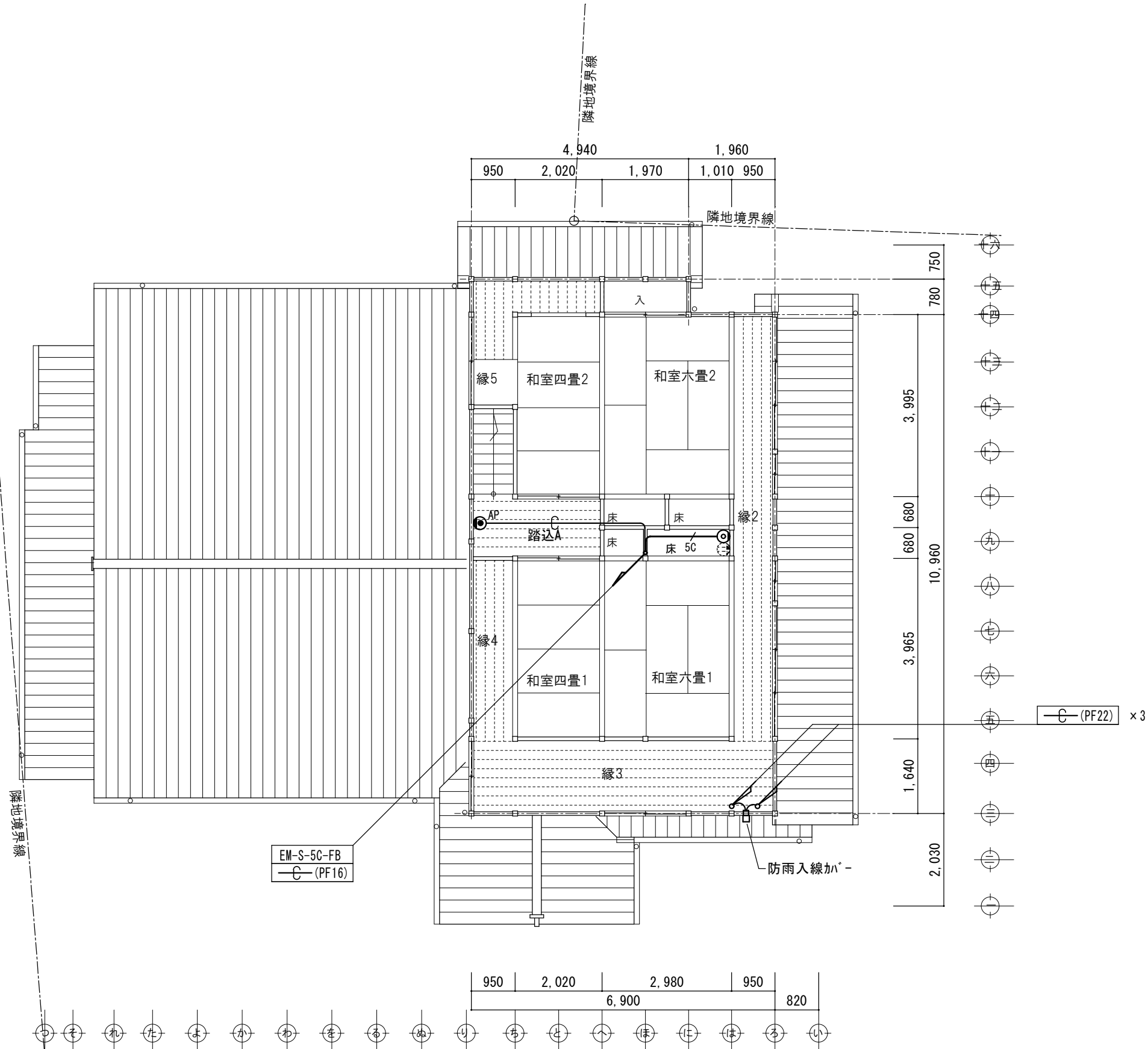
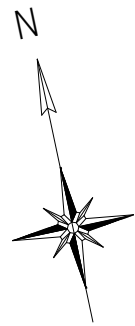
【 凡例 】

記号	名 称	仕 様
	端子盤	樹脂製ボックス E-13図参照
	TEL用プレート	ノズルプレート
	テレビ端子	
	呼出表示器（1窓）	壁掛形 E-19図参照
	呼出ボタン	ひも付き E-19図参照
	廊下表示灯	ボタン付き E-19図参照
	復旧ボタン	E-19図参照
	アクセス点用位置ボックス	OBM44+ノズルプレート

【 配線凡例 】 図示無きは下記による。

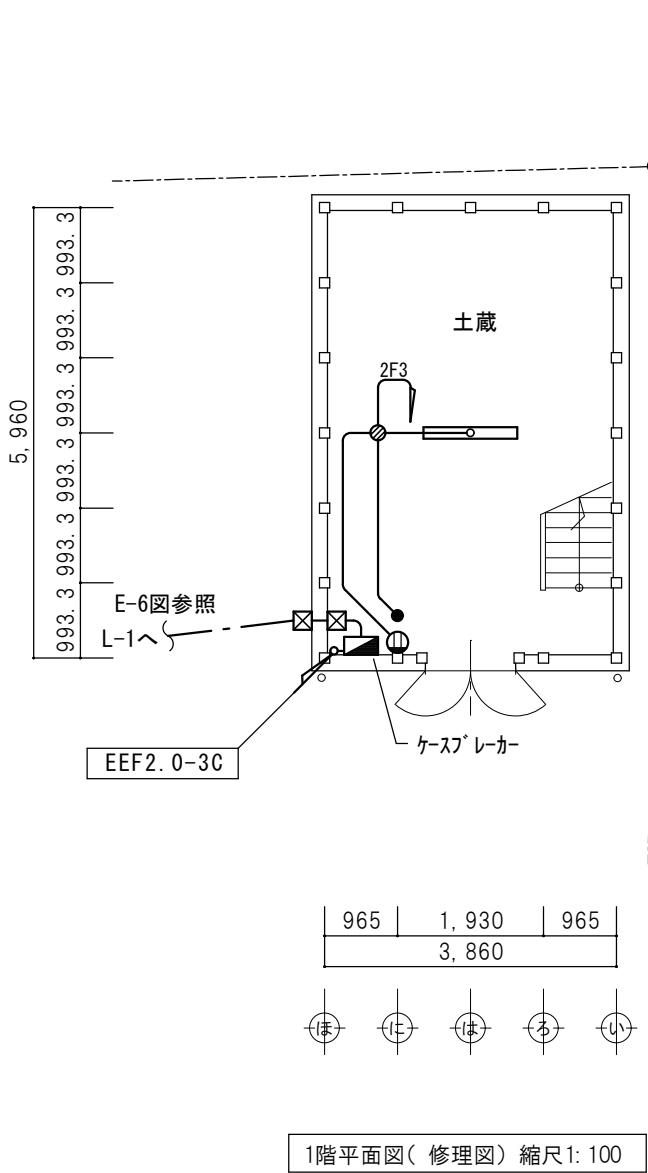
天井内はケーブルころがし、壁立下り、床下は木部ステップ止めとする。

記号	配線	記号	配線
	EM-AE 0.9-2C		EM-AE 0.9-3C
	EM-AE 0.9-2C×2		導入線 (PF16)
	EM-S-5C-FB		導入線 (PF22)

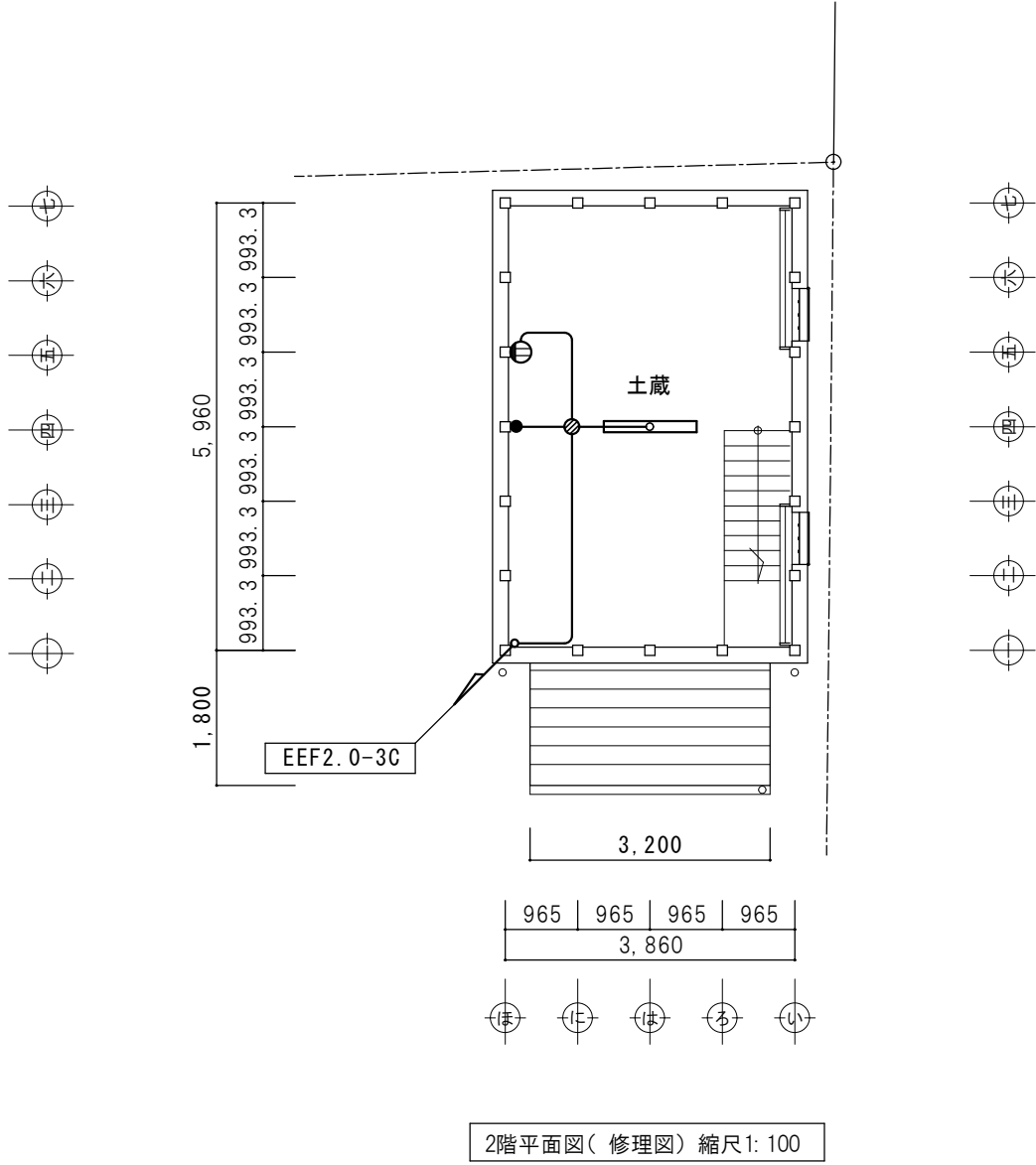


対青館 2階平面図（改修図） S 1: 100

	特 記	日 付	工事名称	図面番号
		令和7年12月15日	津和野伝統的建造物群保存地区防災施設整備工事	
		設計番号	図面名称	
		2402	対青館 弱電設備 2階平面図（改修図）	縮尺 1 : 100



1階平面図(修理図) 縮尺1: 100



2階平面図(修理図) 縮尺1: 100

【照明器具姿図】 品番は参考とし、同等品以上とする

D2	LSS1-4-37
	消費電力31.9w 光束4,000lm

定格出力型、電圧100～242V
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83
電源装置はライトバー側に内蔵

【凡例】

記号	名 称	仕 様
●	ワイトスイッチ OFF表示付	フッシーON/OFF (ワイトスクエアプレート)
Ⓜ	コンセント (図示なきは2口とする)	2P15Ax2 (ワイトスクエアプレート)
▬	ケースブレーカー	ELCB2P1E20A×2 参考 BEDS220317
⊗	Fケーブル用ジョイントボックス	透明

【配線凡例】 新設はE電線とする。隠蔽または木造サドル(ステップル)とする。

EEF1.6-2C	EEF2.0-2C
EEF1.6-3C	EEF2.0-3C 1C:E
EEF1.6-3C 1C:E	IE2.0 接地

機械設備工事仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

島根県鹿足郡津和野町後田口412 他2筆 地内

2. 地域地区

(都市計画区域内)

3. 敷地面積

1,042.39 m²

4. 建物用途

集会所

5. 棟別概要

No.	建物名称	建築種別	構造	階数	消防法の区分	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)
1	対青館	修繕	W造	2	(1) 口	187.68	256.30
2	倉庫	修繕	W造	1	(14)	25.63	46.00
3							
4							
5							
6							
7							
合 計						213.31	302.30

6. 工事種目

(○印を付したものが該当)

	1	2	3	4	5	6	7
衛生器具設備	○						
給水設備	○						
排水設備	○						
消火設備	○						
ガス設備							
給湯設備	○						
浄化槽設備							
空気調和設備	○						
換気設備	○						
自動制御設備							
エレベーター設備							
建築工事							
電気設備							

7. 設備概要 (改修の場合は工事対象を示す。)(○印を付したものが該当)

衛生設備	給水方式	○ 水道直結方式 ・ 高置タンク方式 ・ ポンプ直送方式	
	排水方式	○ 建物内の汚水と雑排水 (・ 合流 ○ 分流) ・ その他 ()	
	放流先	汚水 ○ 直放流下水管 ・ 浄化槽 ・ その他 ()	
		雑排水 ○ 直放流下水管 ・ 浄化槽 ・ その他 ()	
	排水槽	・ 有り (計画容量: m ³) ○ 無し	
	消火設備	・ 屋内消火栓 ・ 連絡送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー ・ 消防用水 ・ 泡消火 ・ 連絡散水装置 ・ フード等用簡易自動消火装置 ・ 粉末消火装置 ・ 不活性ガス消火 (・ 窒素 ・) ・ ハロゲン化物消火 ・ 消火器 ・ 無し	
ガス設備	給湯設備	・ 都市ガス 種別 (MJ/㎡3N) ・ 液化石油ガス	
	給湯設備	○ 有り (○ 局所式 ・ 中央式) ・ 無し	
		○ 熱源 (○ 電気 ・ 都市ガス ・ 液化石油ガス ・ 灯油 ・ A重油)	
	浄化槽設備	・ 有り (・ 合併処理 ・ 小規模合併処理 ・) ・ 無し	
	空調設備	空気調和方式等	○ 空気調和 (・ 単一ダクト方式 ・ 各階ユニット方式 ○ パッケージ方式) ・ ファンコイルユニット・ダクト併用方式 ・ ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機
		主要熱源機器	・ 鋼製ボイラー ・ 鉄製ボイラー ・ 温水発生機 (・ 真空式 ・ 無圧式) ・ チリングユニット ・ 吸収冷温水機 ・ 吸収冷温水機ユニット ・ 空気熱源ヒートポンプユニット ○ パッケージ形空気調和機 ・ マルチパッケージ形空気調和機 ・ ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機
換気設備			・ 1種換気 ・ 2種換気 ○ 3種換気
排煙設備			・ 機械排煙 (・ 有り ○ 無し) ・ 適用法規 (・ 建基法 ・ 消防法)
自動制御設備			・ 自動制御方式 (・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式)

II 工事仕様

1. 共通事項

(1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版」(以下「標準仕様書」という)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)令和4年版」(以下「標準図」という)による。
ただし、改修工事に関しては「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版」(以下「改修標準仕様書」という)による。

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2. 特記事項

(1) 章及び項目は、番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は、○ 印を適用する。
○ 印の無い場合は、* 印のあるものを適用する。
○ 印と ⊕ 印のある場合はともに適用する。

章	項目	特記事項
1	① 適用基準等	○ 消防設備等の技術基準 全国消防長会中国支部編 (第8次改訂版) ⊕ 営繕工事写真撮影要領 (平成28年版)による 工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編 平成30年版 一般社団法人公共建築協会 編集 国土交通省大臣官房官庁営繕部 監修
	② 機材の品質等	本工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JISマーク表示のない機材及びその製造者等は、次の1)～6)の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡易な機材又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1)～6)を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 3) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 4) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 5) 安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。 6) 材料及び接着剤等のホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする。 なお、商品名が記載された機材については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 また、これらの機材を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 ただし、一般社団法人公共建築協会編集・発行の「建築材料・設備等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿 (最新版)」及び「同設備機材等評価名簿 (最新版)」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。

章

項目

特記事項

③ 環境への配慮

本工事に於いて、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 (平成12年法律第100号)に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針 (令和5年2月25日変更閣議決定)」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準を満たすものとする。

④ 官公署その他への届出手続等

標準仕様書によるほか、液化石油ガス設備工事を施工する際は着事前にガス供給事業者に着事前説明を行い、完了時に完成図を提出すること。

⑤ 電気保安技術者

工事現場における電気保安技術者は、監督職員の指示に従い、電気工作物の保安の業務を行うものとする。

⑥ 現場事務所

・ 設置できる (・ 敷地内 ・ 敷地外 (設置可能場所:))
○ 設置できない

⑦ 工事用電力、水

構内既存の施設
工事用水 ・ 利用できる (有償) ○ 利用できない
工事用電力 ・ 利用できる (有償) ○ 利用できない

⑧ 発生材の処理

・ 引き渡しを要するもの ()
・ 現場において再利用を図るもの ()
産業廃棄物の処理及び再資源化を図るものは下記による。

項目	品目	搬出場所	距離 (Km)	DID区間 (有・無)	処分費 (有・無)	備考 (再資源化の有無等)
特定建設資材	○コンクリート塊	※建築図による				
特別管理産業廃棄物						
家電リサイクル法に基づく物						
フロン排出抑制法に基づく物						
その他						

・ 石綿含有建材 (ガスケツト、パツキン、たわみ継手等)は関係法令等に従い適切に処理する。
・ 搬去する石綿含有建材は機器の製造年、品番等を確認し石綿含有分析の要否を判定する。

9. 交通安全管理

以下のとおり、交通の誘導に係る業務に従事する者を配置すること。配置する位置は別に図示する。

名称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等
交通誘導員A		
交通誘導員B		
交通整理員		

(注) 交通誘導員A、Bは警備業法に定める警備員とし、交通整理員については資格を問わない。
取扱いは「建築工事における交通誘導員等の取扱い基準」(営繕課HP掲載)による

⑩ 工事写真

下記のものを提出する。
仕様は、島根県建築工事写真取扱い要領による。

区分	分類	サイズ (mm)	提出部数
工事中写真 (着工前含)	* カラー	* 80×120 程度	2 部
	* カラー	外部全景 * 120×170 程度 その他 * 80×120 程度	4 部
電子データ (CD-R等)	デジタルカメラを使用した場合は、工事中写真及び完成写真のデータを記録したCD-R等を提出する。		1 部

(注) フィルムカメラを使用する場合は監督職員と協議する。

章

項目

特記事項

⑪ 技能士の適用

⑫ 完成図

⑬ 保全に関する資料

⑭ 総合試運転調整

⑮ 図形表示

⑯ 電気容量及び機器能力表示

⑰ 保温

技能士制度の趣旨を十分理解の上、積極的な活用に努めること。

下記のもの、竣工後15日以内に提出する。
仕様は、島根県建築工事完成図取扱要領による。

品名・仕様	提出部数
複写図 * 竣工図 製本サイズ (* A3縮小版 ・ 原図サイズ) 白焼 表装 (* レザック表紙 (ラミネート仕上))	2 部
* 施工図 (構造躯体図、設備の配管配線図、監督職員が指示する図面) 製本サイズ (* A3縮小版 ・ 原図サイズ) 白焼 表装 (* レザック表紙 (ラミネート仕上))	2 部
* 電子データ (PDFデータ、CADデータ、施工図) (CD-R等)	1 部

製本の取りまとめについては監督職員の指示による。
設計に関するCADデータを貸与するが、著作権者は、津和野町にある。なお、貸与されたデータは、当該工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。
・ 竣工図と施工図を1冊にまとめる。

書類名	提出部数
建築物等の利用に関する説明書 (建築物等の利用に関する説明書作成要領による) 機器取扱い説明書 機器性能試験成績書及び配管試験等記録 官公署届出等書類 (完了検査、検査済証を含む) 総合試運転調整測定表 その他監督職員が指示するもの	* 1 部 ○ 2 部
建築物等の利用に関する説明書の電子データ (CD-R等)	* 1 部

装置全体の施工完了時に、下記の総合試運転調整を行う。
○ 風量調整
○ 水量調整
・ 室内外空気の温湿度の測定
・ 室内気流及びびじんあいの測定
・ 騒音の測定
・ 飲料水の水质検査
・ 一般飲料水適否簡易検査 (建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく11項目)
・ 一般飲料水適否検査 (建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく16項目)
・ 水道法施行規則による水质検査
・ 雑用水の水质検査
測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所等は監督職員の指示による。

機器類は、図示する形状及び配管などの取り出し位置により、特定製造者の製品を指示、限定しない。
型番変更等により参考型番が変更または廃止されている場合、参考型番の同等品とする。

原則として、電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は図面に記載されている数値以下、機器類の能力及び容量等は表示された数値以上とする。

1) 給水管、給湯管、排水管の保温は下記の部分を除きグラスウール保温材とし、施工順序は標準仕様書による。
①暗渠内及び屋内外露出給水管の保温はポリスチレンフォーム保温材とする。
②多湿箇所及び屋内露出排水管の保温はポリスチレンフォーム保温材とする。
2) スラプ上転がし排水管 (耐火二層管を除く) はグラスウール保温材とし、保温厚が確保できない場合はグラスウール保温材同等の性能を有する製品を監督職員の承諾のうえ使用できる。
ただし、ユニット付局部は耐火二層管とする。
3) 一般ダクトの保温はグラスウール保温材とする。
4) 機器の保温はグラスウール保温材とする。
5) 冷媒管に断熱被覆鋼管を使用した場合の外装材は下記による。
屋内露出 ○保温化粧ケース (・ 樹脂製)
・ 合成樹脂カバー (・ シートタイプ ・ ジャケットタイプ)
屋外露出 ○保温化粧ケース
○樹脂製 ・ 溶融亜鉛めっき製 ・ ステンレス鋼板製
・ ステンレスラッキング (JIS G 4305)
6) 全熱交換ユニットより外気側のダクト
・ 断熱する ・ 断熱しない
7) 合成樹脂カバー (冷媒管以外の管)
○ 1 (シートタイプ) ・ 2 (ジャケットタイプ)

	特記	日付	令和7年12月15日	工事名称	津和野伝統的建造物群保存地区防災施設整備工事	図面番号
		設計番号	2402	図面名称	特記仕様書 (1)	

縮尺 NOSCALE

M-01

⑮ 塗 装

1) 下記の部分を除き、原則として塗装を行う。
下記の部分において塗装が必要な場合は図示による。
①垂鉛めっきされたもので常時隠べいされる部分
②垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類
③主、各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管
④カラー垂鉛鉄板面
⑤垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面
⑥樹脂コーティング等をしたもので、常時隠べいされる部分
⑦アルミニウム、ステンレス、銅、溶融アルミニウム―垂鉛鉄板、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面
⑧埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く）
2) 塗装を施さない部分、箇所 ・ 倉庫 ・ 車庫 ・ 駐車場
3) 防錆塗料については国土交通大臣特別評価方法認定品を使用してもよい。
4) 残りネジ部、及びパイブレンチのチャック跡部の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

19. 耐 震 措 置

1) 設備機器の固定は、「建築設備耐震・施工指針（国土交通省 国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）2014年版」及び「（一般社団法人）日本エレベーター協会発行の「昇降機耐震設計施工指針（日本建築設備昇降機センター編集）2014年版」による。
建築設備の設計用標準水平震度（K s）

設置場所	建物の種別	・ 特定の施設	・ 一般の施設		
	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
	水槽（タンク）類	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
中間階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
	水槽（タンク）類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
地階及び1階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6
	水槽（タンク）類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6

注）上層階の定義は次による。
2～6階建ての場合は最上階、7～9階建ての場合は上層2階、10～12階建ての場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階
2) 重要機器
・ 水槽類（受水槽、高架水槽）
・ 給水ポンプ（加圧給水ポンプユニット、揚水ポンプ）
・ 消火設備機器（消火ポンプユニット、自動消火設備機器、パッケージ形消火設備機器）
・ 危険物貯蔵装置（オイルタンク、サービスタンク）
・ オイルポンプ
・ エアコン室外機（ルームエアコンは除く）
・
3) 一般機器
重要機器以外のもので機器重量が1kNを超える機器
4) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
5) エレベーターの耐震クラス
・ S14 ・ A14
エレベーターの設計用標準水平震度（K s）は標準仕様書による。
6) 地域係数
・ 0. 9 ・
7) あと施工アンカーの引き抜き試験
対象機器は重要機器及び一般機器とする。
試験本数は対象機器1台につき、3本とする。
ただし、エアコン室外機は機器1台につき、1本とする。
試験箇所は監督職員の指示による。
試験方法は引張試験機による引張試験とする
確認強度は対象機器ごとのあと施工アンカー1本に作用する引抜き力以上とする
（注）機器重量が1kN以下の機器は使用するアンカーメーカーの強度試験資料を監督職員に提出し承諾をうけること。

⑮ 耐 震 施 工

1) 機器の耐震施工
①エアコン室外機の転倒防止措置は図示による。
②給湯設備機器の設置は「平成24年国土交通省告示第1447号」による。
2) 横引き配管等は地震時の設計用水平震度及び設計用鉛直震度に応じた地震力に耐えるよう建築設備耐震設計・施工指針2014年版によるSA種、A種又はB種耐震支持を行う。
ただし、次の場合を除く。
①吊り長さが平均0. 2m以下、または、40A以下の配管（銅管は20A以下）
②吊り長さが平均0. 2m以下、または、周長1. 0m以下のダクト

⑮ 他工事との取り合い

1) 梁・壁・床貫通部の補強
補強 ・ 本工事 ㊟ 別途建築工事
2) 天井開口（下地を含む）及び補強
開口 ㊟ 本工事 ・ 別途建築工事
補強 ・ 本工事 ㊟ 別途建築工事
3) 機器の基礎
㊟ 本工事
（ 室外機基礎工事 ）（ ）
（ ）（ ）
（ ）（ ）
（ ）（ ）
（ ）（ ）
・ 別途建築工事
（ ）（ ）
（ ）（ ）
（ ）（ ）
（ ）（ ）
4) 二次側電源 ㊟ 本工事 ・ 別途電気設備工事
5) 一次側電源 ㊟ 別途電気設備工事 ・ 本工事
6) リモコン用配管 ㊟ 別途電気設備工事 ・ 本工事
7) リモコン用配線 ㊟ 本工事 ・ 別途電気設備工事
8) リモコン取付け ㊟ 本工事 ・ 別途電気設備工事
9) その他
・ 本工事
（ ）（ ）
・ 別途建築工事
（ ）（ ）

⑮ 外壁との取り合い

1) 外壁と設備の取り合い部分（配管等の貫通部を含む）はシーリングを行う。
2) シーリング材は、外壁の種類に応じたものとする。

⑮ 配 管 施 工

1) ねじ加工に際しては、ねじゲージを使用し、ねじの長さを調整する。
2) イオン化傾向の大きくなる異種管の接続には、絶縁継手を使用する。

⑮ 支持金物、固定金物

1) ポンプ及び屋外設置機器、ビット内、多湿箇所のアンカーボルト、ナット類はステンレス製（SUS304）、又は溶融亜鉛めっき仕上げ（HDZT49）とする。
2) 屋外及びビット内、多湿箇所の配管、ダクトに使用する支持金物等は、ステンレス製（SUS304）、又は溶融亜鉛めっき仕上げ（HDZT49）とする。
3) 屋外及びビット内、多湿箇所に使用する鋼材類はステンレス製（SUS304）、又は溶融亜鉛めっき仕上げ（HDZT49）とする。

⑮ 地中埋設機

1) 標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。
＊ 標準図（機材2）による。

⑮ 配管名等の表示方法

配管ダクト類
1) 配管及びダクトの用途、系統及び流れ方向を表示する。
2) 弁にはアクリル版札を取り付けて用途を明記する。
3) 貼付表示する場合は、耐候性のある材料を使用する。
機器類
1) エアコン室外機には系統名及び機器番号、設置年月を明記する。
2) 水槽類には有効容量、設置年月を明記する。
3) 貼付表示する場合は、耐候性のある材料を使用し、日本語は10cm×10cm、英数字は10cm×5cm程度とする。

27. 機器操作要領の説明板

1) 機器の運転操作要領及び取扱上の留意事項をアクリル板（白地）に黒及び朱色の文字で書く。
2) 板の大きさ及び文量は監督職員の承諾を受ける。

28. 足 場

「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」による。
・ 本工事で設置する。
外部足場
・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種
・ G種
内部足場
・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種
・ 建築工事設置の足場を利用

⑮ 土工事

1) 埋戻しの種別
㊟ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種
・ （材料： 工法： ）
2) 建設発生土の処理
・ 構内指定場所に敷ならし
・ 構内指定場所に堆積
・ 現場説明書による
3) 山留め
工法等（軽量矢板 ）
残置 ・ する * しない
鋼矢板等の抜き跡の処理工法 * 砂を充てんする
30. はつり工事等
1) 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドコアによる。
2) はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に非破壊検査を行い監督職員に報告する。原則として探査方法は走査式埋設物調査（電磁誘導法または電磁波レーダ法）とする。

⑮ 補 修

1) 工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は既存にない補修する。
2) 汚染、損傷した場合は速やかに監督職員に報告する。

32. 負 担 金

・ 水道 円（内消費税相当額 円）
・ ガス 円（内消費税相当額 円）
・ 下水道 円

33. 関連他工事

・ 建築主体工事
・ 電気設備工事

34. 特定元方事業者の指名

下記の者に、労働安全衛生法第30条第2項に基づく指名を行う。
・ 本工事の受注者
・ 関連他工事の受注者（ ）

⑮ 施工図及び施工計画書

提出した施工図及び施工計画書に関わる当該建物における使用权は発注者に委譲するものとする。

36. 事前調査等

受注者は以下の規定に基づき、特定建築材料等の有無を事前に調査し、発注者へ書面により説明すること。併せて調査結果の揭示及び所管労働基準監督署長並びに都道府県知事等の報告を行うこと。
（大気汚染防止法第18条の15、石綿障害予防規則第3条及び第4条の2）
・ 分析調査（定性分析）を行い、結果を報告する。
・ 試料採取箇所（ ） 試料数（ ）
・ 図示による

⑮ 施 工 調 査

1) 本工事の施工計画に先立ち事前調査を行う。
2) 事前調査後速やかに調査結果をまとめ監督職員に報告書を提出する。
3) 調査結果を考慮し施工計画書、施工図を作成する。
4) 下記の分析調査を行う。
・ 塗膜塗料に含まれる有害物質
現場にてサンプルを採取し、分析を行う。
有害物質の種類 ・ PCB ・ 鉛 ・ クロム
採取場所（ ）
採取箇所数（ ）
38. 木製安全施設製品（県産木材製品）
＊ 工事用看板（表示板1、400mm×500mm用） 2台
＊ 工事用バリエード 5台
＊ 工事用標示板（表示板1、400mm×1、100mm用） 台
（注）取り扱い平成25年3月8日付第945号による

⑮ 多機能トイレ

1) 鳥根県ひとにやさしいまちづくり条例施設整備マニュアルによる。
2) リモコン等の配置はJIS S 0026による。

⑮ 洋風大便器

① リモコン
㊟ 必要（㊟ 電池式 ・ 自己発電式） ・ 不要
② 洗浄方式
㊟ 自動式（ ・ AC電源 ・ 自己発電 ㊟ 乾電池）
・ リモコン ・ 手動式

3. 小 便 器

1) 据付方式
・ 壁掛型（低リップ） ・ 床置型
2) 洗浄方式
・ 自動式（ ・ AC電源 ・ 自己発電 ・ 乾電池）
・ 手動式

⑮ 洗面器、手洗器

㊟水栓方式
㊟ 自動式（㊟ AC電源 ・ 自己発電 ・ 乾電池）
・ 手動式（ ・ ハンドル式 ・ レバー式）

⑮ 給 水 方 式

㊟ 公共水道直結給水 ・ 重力給水（高置タンク方式）
・ 加圧給水方式
水道事業管理者（ 水道局又は上下水道課 ）

⑮ 配 管 材 料

1) 一般配管用
㊟ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-V A）
（JWWA K 116）
・ 一般配管用ステンレス鋼管（JIS G 3448）
・ 架橋ポリエチレン管（JIS K 6769）
・ ポリブテン管（JIS K 6778）
・ 給水用高密度ポリエチレン管
・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-V B）
（JWWA K 116）
2) 中水配管用
・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-V A）
（JWWA K 116）
3) 土間配管用
㊟ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ ・ H I V P ・ V P ）
（JIS K 6742）
・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-V D）
（JWWA K 116）
・ 給水用高密度ポリエチレン管
④ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（㊟ H I V P ・ V P ）
（JIS K 6742）
・ 水道用ポリエチレン二層管（JIS K 6762）
・ 給水用高密度ポリエチレン管
※中水配管と上水配管が混在する建物では中水配管用にSGP-VAを用い、上水配管用にSGP-VBを用いる。

⑮ 管の接合等

1) 鋼管と塩化ビニル管の接合は50A以下をユニオンシモク接合とし、管端防食継手との接合の際は異種管接続用管端防食継手を使用する。65A以上の接合はフランジ接合とする。
2) 60S u以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の鋼管継手性能基準による継手とする。75S u以上のステンレス鋼管継手はハウジング継手とする。
3) 架橋ポリエチレン管及びポリブテン管の接合方法
・ さや管ヘッダー工法 ・ ヘッダー工法（保温付管）
・ 分岐工法（ ・ 融着接合 ・ メカニカル接合）
4) 架橋ポリエチレン管及びポリブテン管の支持間隔は標準仕様書によるほか、メーカーの示す施工方法に準じ分岐部及び曲がり部においても適切に固定する。
5) ビニル管の接合方法
・ 接着接合 ・ ゴム輪接合
ビニル管の接合方法をゴム輪接合とする場合、継手部には離脱防止金具を使用する。
6) ポリエチレン管の接合方法
50A以下 ・ メカニカル接合 ・ 電気融着接合
75A以上 ・ 電気融着接合
水道用ポリエチレン二層管は50A以下とする。
7) 給水用高密度ポリエチレン管を使用する場合の配管支持間隔は標準仕様書及びメーカー施工標準のうち短い方を適用する。

⑮ 弁

図示なき弁の耐圧は10kとする。
土中配管に使用する弁は埋設用とする。
給水引き込み部は水道事業者の指定品とする。
・ 定流量弁（ ・ 流量固定式 ・ 流量調整式 ）

⑮ タ ン ク

1) マンホールカバーは旋錠する。
2) 電極棒取付材及び電極棒の取付は本工事とする。
3) フレキシブルジョイントは（ ・ ステンレス製 ・ 合成ゴム製 ）とする。
4) 屋外に設置するタンクの積雪耐荷重は2KPa以上とする。
5) マンホールは、気密性を有する構造とし、断熱性を有するタンクの場合には保温形（二重蓋構造等）とする。
6) タンクから排水バルブまでの配管は給水設備に準ずる。
7) ドレン配管はタンク本体から支持する。

⑮ 空 気 抜 き

空気溜まりを生ずる箇所には、操作の容易な位置に空気抜き装置を設ける。

⑮ 電 気 工 事

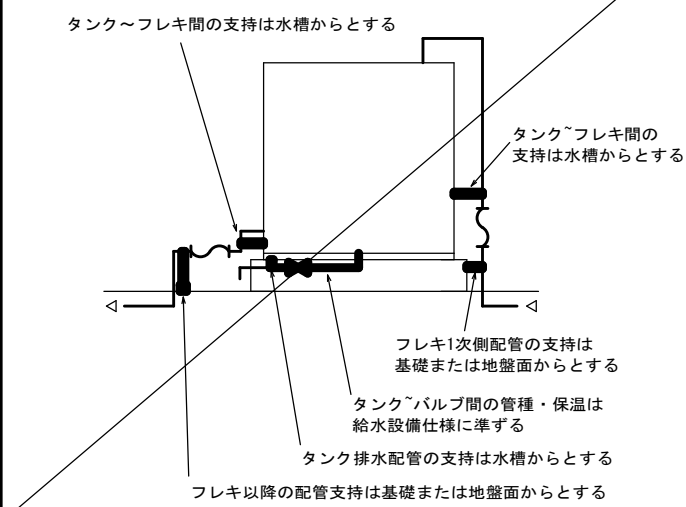
1) 電源供給は（ ・ 本工事 ・ 別途電気工事 ）
2) 操作、制御回路は本工事とする。
（ ・ 一括警報用無電圧端子付とする ）

	特記	日付 令和7年12月15日	工事名称 津和野伝統的建造物群保存地区防災施設整備工事	図面番号 M-02
		設計番号 2402	図面名称 特記仕様書(2)	
			縮尺 NOSCALE	

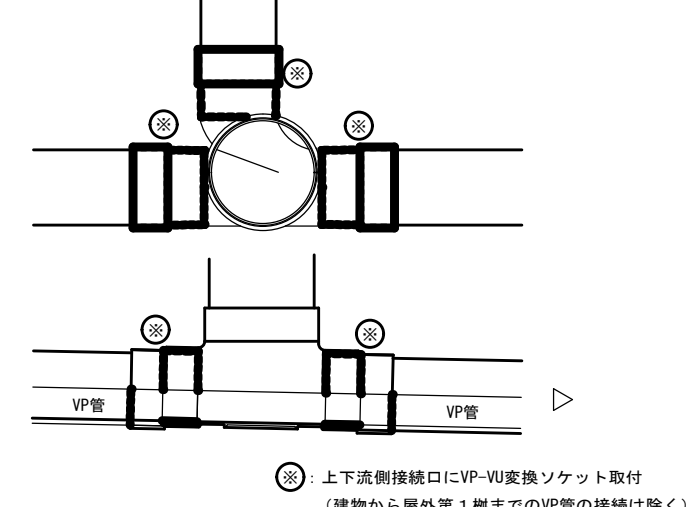
章	項	目	特記事項	章	項	目	特記事項				
排水設備	④	① 配管材料	1) 屋内汚水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（D-VA） （WSP 042） ・ 耐火二層管（国土交通大臣認定品） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） （JIS K 9798） ・ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（NETIS登録品） 2) 屋内雑排水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（D-VA） （WSP 042） ・ 耐火二層管（国土交通大臣認定品） ・ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（NETIS登録品） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） （JIS K 9798） ・ * 使用箇所は図記による。 3) 屋内通気管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ 耐火二層管（国土交通大臣認定品） ・ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（NETIS登録品） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） （JIS K 9798） 4) 屋外露出汚水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（D-VA） （WSP 032） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） （JIS K 9798） 5) 屋外露出雑排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（D-VA） （WSP 032） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） （JIS K 9798） 6) 屋外露出通気管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） （JIS K 9798） 7) 屋外埋設汚水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（ ・ VP ○ VU ） （JIS K 6741） ・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（REP-VU） （AS 58） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RS-VU） （JIS K 9797） 8) 屋外埋設雑排水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（ ・ VP ○ VU ） （JIS K 6741） ・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（REP-VU） （AS 58） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RS-VU） （JIS K 9797） 9) 建物から屋外第一樹まではVP管とする。 VP管を接続する場合はVP-VU変換ソケットを使用する。 （建物から屋外第1樹までのVP管の接続は除く） ・ ベンドキャップ（VC：アルミ製） ○ 排水用通気（吸気）弁（樹脂製） 1) マンホール蓋は鎖付とする。 2) 塗装はSHASE-S 209による。 3) マンホール用手かぎを1組納品する。 ・	3. 消火器ボックス 4. 保 温 5. 弁 の 耐 圧 6. 所轄消防署	1) 屋外 ・ 樹脂製 ・ 2) 屋内 ・ 図示 ・	空調設備・換気設備	⑨	① 配管材料	1) 給水 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VA） （JWWA K 116） ・ 一般配管用ステンレス鋼管（JIS G 3448） ・ 給水用高密度ポリエチレン管（PWA 005） 2) 冷温水 ・ 一般配管用ステンレス鋼管（JIS G 3448） ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ 架橋ポリエチレン管（JIS K 6769） ・ ポリブテン管（JIS K 6778） （注）架橋ポリエチレン管及びポリブテン管はファンコイルユニット機器接続部のみに使用する。 ・ 空調配管用高性能ポリエチレン管（NETIS登録品） 3) 冷却水 ・ 一般配管用ステンレス鋼管（JIS G 3448） ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VA） （JWWA K 116） ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ 給水用高密度ポリエチレン管（PWA 005） 4) 蒸気給気 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP黒）（JIS G 3452） 5) 油 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP黒）（JIS G 3452） ・ ポリエチレン被覆鋼管（JIS G 3469） 6) 蒸気運管 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370黒Sch40） （JIS G 3454） 7) 冷媒 ○ 冷媒用断熱材被覆鋼管（ポリエチレン保温材（難燃性）） （JCDA 0009） 8) ドレン ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管 9) 60 Su以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準による継手とする。75 Su以上のステンレス鋼管継手はハウジング継手とする。	12. 弁 の 耐 圧 13. 空調用流体の水質基準 14. 高調波対策	図示なき弁の耐圧は5 k とする。 日本冷凍空調工業会（冷凍空調機器用水質ガイドライン）による。 定格電流値が20 A を超える機器は高調波対策を施す。
	ガス設備	6	1. 配管材料	1) 屋内一般 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ ポリエチレン被覆鋼管（JIS G 3469） 2) コンクリート埋込 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ ポリエチレン被覆鋼管JIS G 3469） 3) 土中埋設 ・ ガス用ポリエチレン管（JIS K 6774） ・ ポリエチレン被覆鋼管（JIS G 3469） 2. ガスメーター ・ ガス事業者貸与（配管はメーターユニオンまで本工事） ・ 買取 3. ガスコック 1) 過流出安全装置付とする。 2) ゴムキャップ付とする。 3) ボックスコックは押しカチットタイプとする。 4. そ の 他 1) 配管には必要に応じ水抜装置を取付ける。 2) 都市ガス工事はガス事業者の指定業者の施工とする。 3) 実験用高压ガスは請負者の責任施工とする。 4) ガス器具はガス事業者認定品（都市ガス）とする。 5) ガス器具は検定合格品（液化石油ガス）とする。 6) 都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。	自動制御設備		10	1. 自動制御方式 2. 中央監視装置 3. 電 源 装 置 4. 温度調節器等 5. 計装工事の配線	図示による ・ 有り（ ・ 本工事 ・ 別途工事 ） ・ 無し （仕様は図示による） ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事 ） ・ 不要 取付け高さは ・ 1300mm ・ 1) 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井隠蔽の配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 2) 原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は一般共通事項19. 電線類の規格による。（機器、盤類はこれによらずともよい） 用途 ： ① 電源線、接地線 ② 電気式の調節器（サーモ、ヒューミ等）用电線 ③ 各種検出部（温度、湿度等）、操作器（バルブ、ダンパー等）における弱電信号、通信線を除く制御線		
		給湯設備	7	1. 配管材料			1) 給湯配管 ・ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-HVA）（JIS K 140） ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管（JIS G 3448） ・ 鋼管（JIS H 3300） ・ 被覆鋼管（JIS H 3300） ・ 架橋ポリエチレン管（JIS K 6769） ・ ポリブテン管（JIS K 6778） 2) 油配管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP黒）（JIS G 3452） ・ ポリエチレン被覆鋼管（JIS G 3469） 2. 管の接合等 架橋ポリエチレン管及びポリブテン管の支持間隔は標準仕様書によるほか、メーカーの示す施工方法に準じ分岐部及び曲がり部においても適切に固定する。 ③ 電 気 工 事 1) 電源供給 ○ 別途電気設備工事 ・ 本工事 2) 操作、制御回路は本工事とする。 （ ・ 一括警報用無電圧接点付とする ） 4. 弁 の 耐 圧 図示なき弁の耐圧は5 k とする。 ただし、水道直結部分及び図示により示す部分は10 k とする。 5. 空 気 抜 き 空気溜まりを生ずる箇所には、操作の容易な位置に空気抜き装置を設ける。	2. 管の接合等 3. フレキシブルジョイント 4. 空 気 抜 き ⑤ ダ ク ト 6 吹出口、吸込口 7. 点 検 口 8. チャンバー 9. 予備フィルター 10. ばい煙測定口 ⑪ 屋外フード類	2. 給湯配管 ・ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-HVA）（JIS K 140） ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管（JIS G 3448） ・ 鋼管（JIS H 3300） ・ 被覆鋼管（JIS H 3300） ・ 架橋ポリエチレン管（JIS K 6769） ・ ポリブテン管（JIS K 6778） 2) 油配管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP黒）（JIS G 3452） ・ ポリエチレン被覆鋼管（JIS G 3469） 2. 管の接合等 架橋ポリエチレン管及びポリブテン管の支持間隔は標準仕様書によるほか、メーカーの示す施工方法に準じ分岐部及び曲がり部においても適切に固定する。 ③ 電 気 工 事 1) 電源供給 ○ 別途電気設備工事 ・ 本工事 2) 操作、制御回路は本工事とする。 （ ・ 一括警報用無電圧接点付とする ） 4. 弁 の 耐 圧 図示なき弁の耐圧は5 k とする。 ただし、水道直結部分及び図示により示す部分は10 k とする。 5. 空 気 抜 き 空気溜まりを生ずる箇所には、操作の容易な位置に空気抜き装置を設ける。	1) 給水用高密度ポリエチレン管、空調配管用高性能ポリエチレン管を使用する場合の配管支持間隔は標準仕様書及びメーカー施工標準のうち短い方を適用する。 2) 架橋ポリエチレン管及びポリブテン管の支持間隔は標準仕様書によるほか、メーカーの示す施工方法に準じ分岐部及び曲がり部においても適切に固定する。 ステンレス製ベローズ形とする。 空気溜まりを生ずる箇所には、操作の容易な位置に空気抜き装置を設ける。 1) 長方形ダクトの製作 ・ アングルフランジ工法 ・ コーナーボルト工法 （ ・ 共板フランジ ・ スライドオンフランジ ） ただし、長辺が1500mmを超えるもの及び、最大静圧が500Paを超えるものはアングル工法とする。 2) 円形ダクト ○ 亜鉛鉄板製（スパイラルダクト） ・ 硬質塩化ビニル製（VU管） 3) 防火区画貫通部の施工 貫通する部分の前後150mm以上を1.6mmの鋼板製とする。 1) 枠及びスリットの材質はアルミニウム製とする。 2) 着色 ○ する ・ しない サブライチャンバー、リターンチャンバー等には点検口（450×600）を取り付ける。 外壁に面するガラリに設けるチャンバーは有効なドレン装置を設置すること。 ・ 図示による。 ・ フィルター装着枚数の（ ・ 100% ・ %） ただし、ルームエアコン、パッケージ形マルチ室内機、カセット形全熱交換器、カセット形ファンコイルを除く。 煙道内の排気流速が安定している直管部分に80φのものを取り付けること。 着色 ○ する ・ しない	
			浄化槽設備	8			1. 処理種別及び方式 2. 人槽算定式 3. そ の 他	・ 小規模合併処理 （ ・ 担体流動生物濾過方式 ・ 嫌気分離接触ろ床方式 ） ・ 合併処理（ ） ・ その他（ ） 図示による	11	1. 配線材料 2. 機器取付高 3. 再使用機器 4. 予 備 配 管	図示による。 機器の取付高は下記を標準とする。ただし監督職員の指示により変更することがある。 1) スイッチ 1. 300mm（床～中心） 取外し再使用する機器は清掃及び絶縁抵抗測定の上取付ける。 壁内に埋込みとなる分電盤、端子盤等には予備配管として、E25×2又はPF22×2を設置する。 1) 天井スラブの場合 天井又は梁下20cmまで立上げ、ボックス止めとする 2) 二重天井の場合 配管を天井内まで立上げる
				消火設備			⑤	① 消火機器 2. 配管材料	○ 消火器（蓄圧式） ・ 1号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 広範囲型2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 屋外消火栓 ・ 連結送水管 ・ スプリンクラー ・ パッケージ型消火器 ・ （仕様は図示による） 1) 隠べい、露出部分 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS K 3452） 2) 土中埋設 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（SGP-VS） （WSP 041） ・ 消火設備配管用高性能ポリエチレン管（PLO60号） （注）性能認定品以外を使用する場合は消防法施行令第32条による申請を行う。	1) 枠及びスリットの材質はアルミニウム製とする。 2) 着色 ○ する ・ しない サブライチャンバー、リターンチャンバー等には点検口（450×600）を取り付ける。 外壁に面するガラリに設けるチャンバーは有効なドレン装置を設置すること。 ・ 図示による。 ・ フィルター装着枚数の（ ・ 100% ・ %） ただし、ルームエアコン、パッケージ形マルチ室内機、カセット形全熱交換器、カセット形ファンコイルを除く。 煙道内の排気流速が安定している直管部分に80φのものを取り付けること。 着色 ○ する ・ しない	

	特記	日付 令和7年12月15日	工事名称 津和野伝統的建造物群保存地区防災施設整備工事	図面番号 M-03
		設計番号 2402	図面名称 特記仕様書（3）	
			縮尺 NOSCALE	

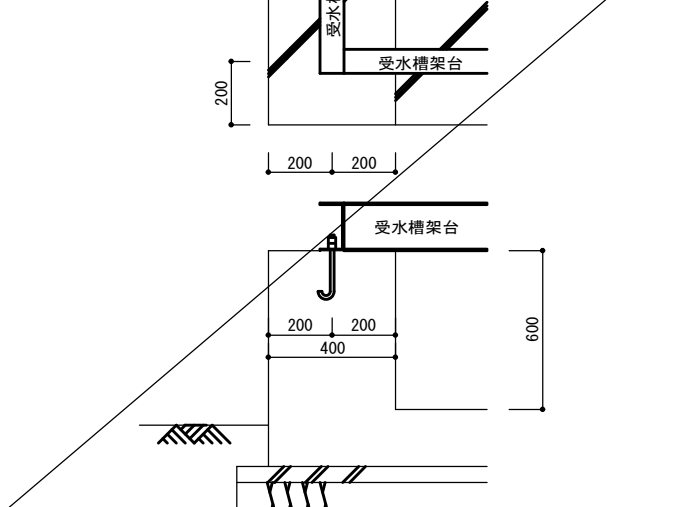
給水用タンク周り配管支持等要領図



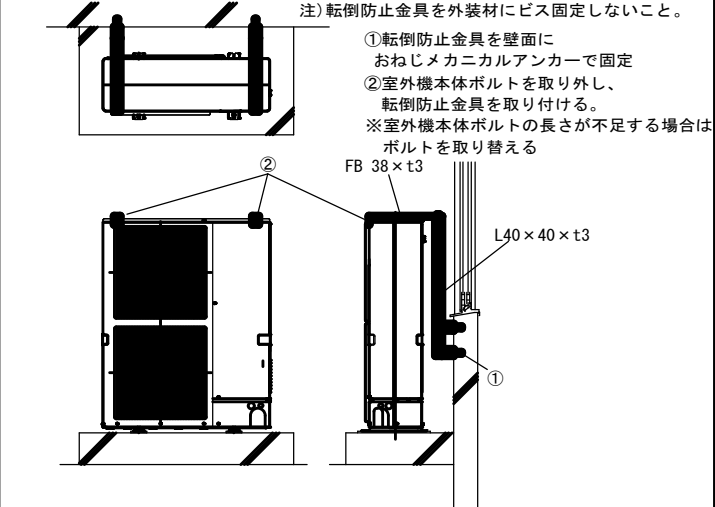
小口径汚水樹とVP管の接合要領



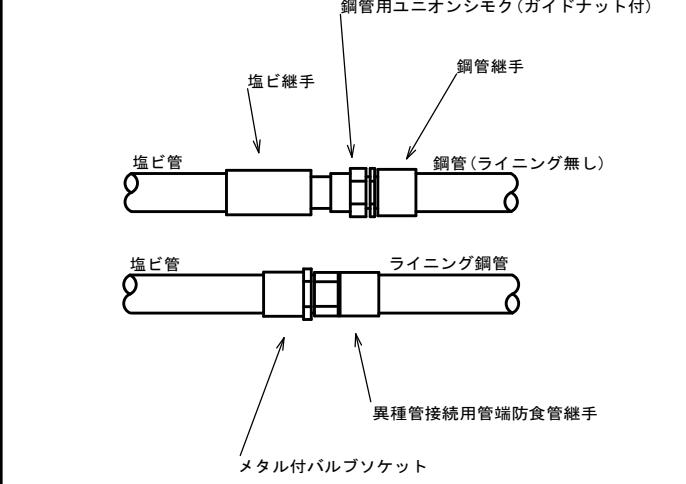
受水槽基礎部分詳細図



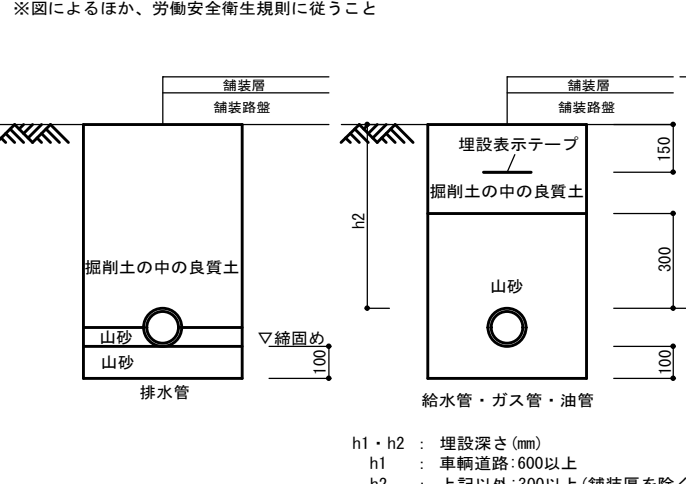
室外機の転倒防止措置要領③



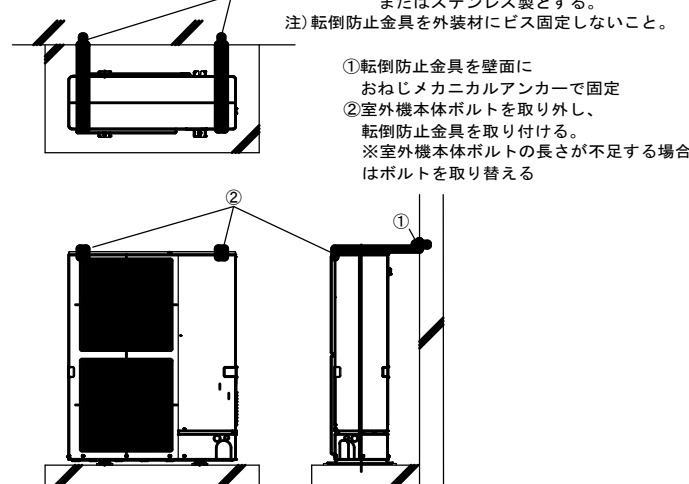
鋼管と塩化ビニル管の接合 (50A以下)



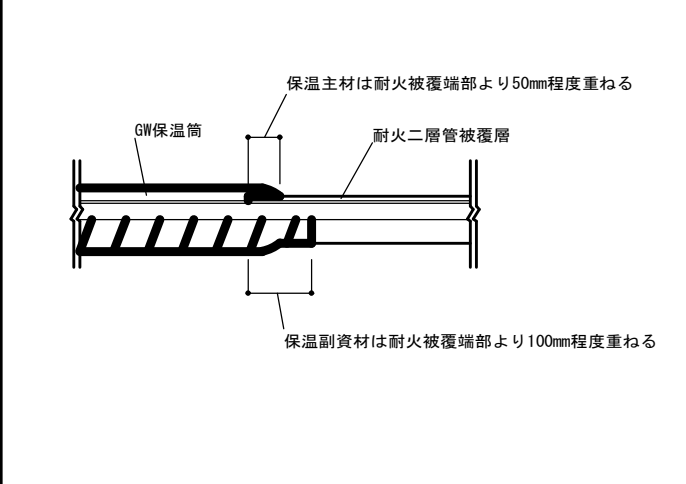
埋戻し基準断面図



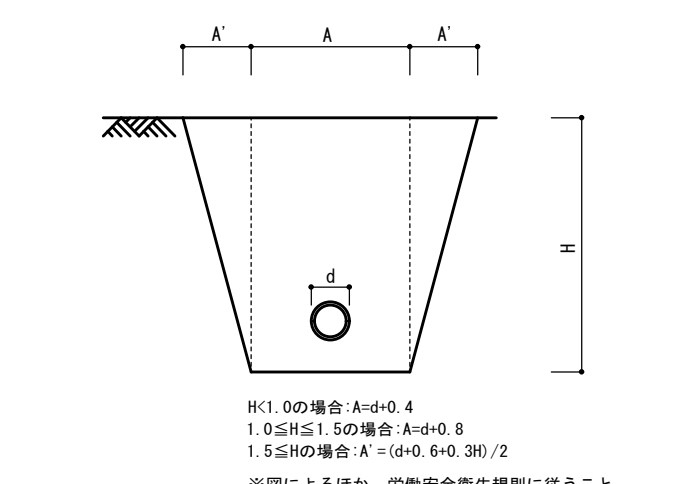
室外機の転倒防止措置要領①



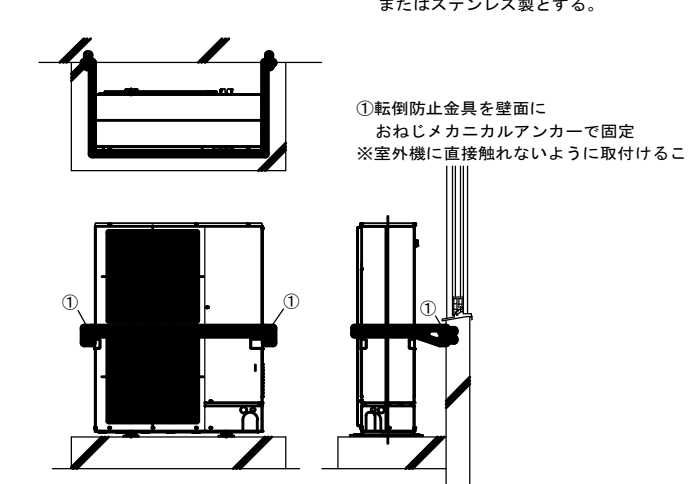
耐火二層管と塩化ビニル管の管種変更部の保温施工要領

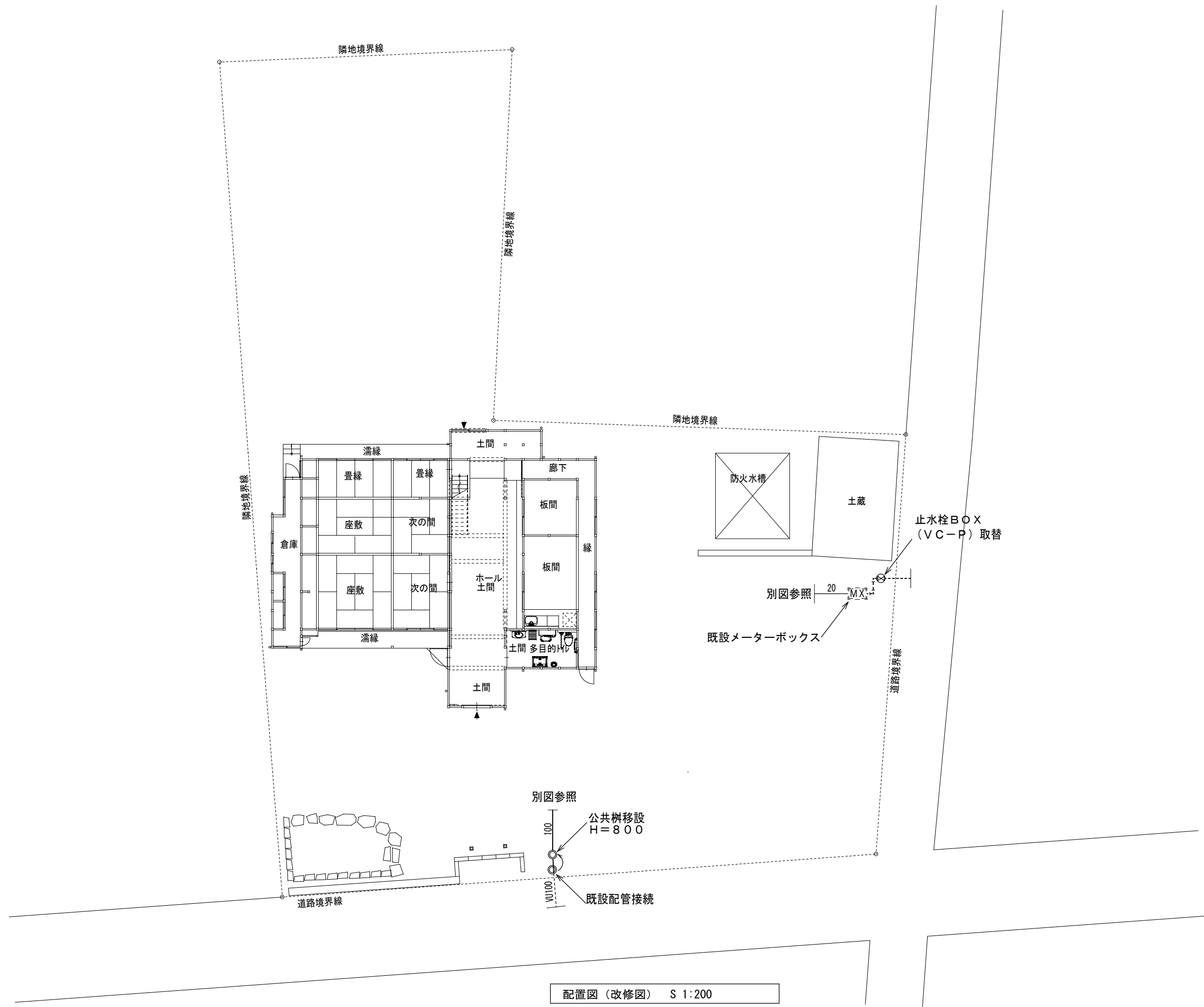
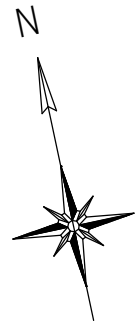


掘削基準断面図



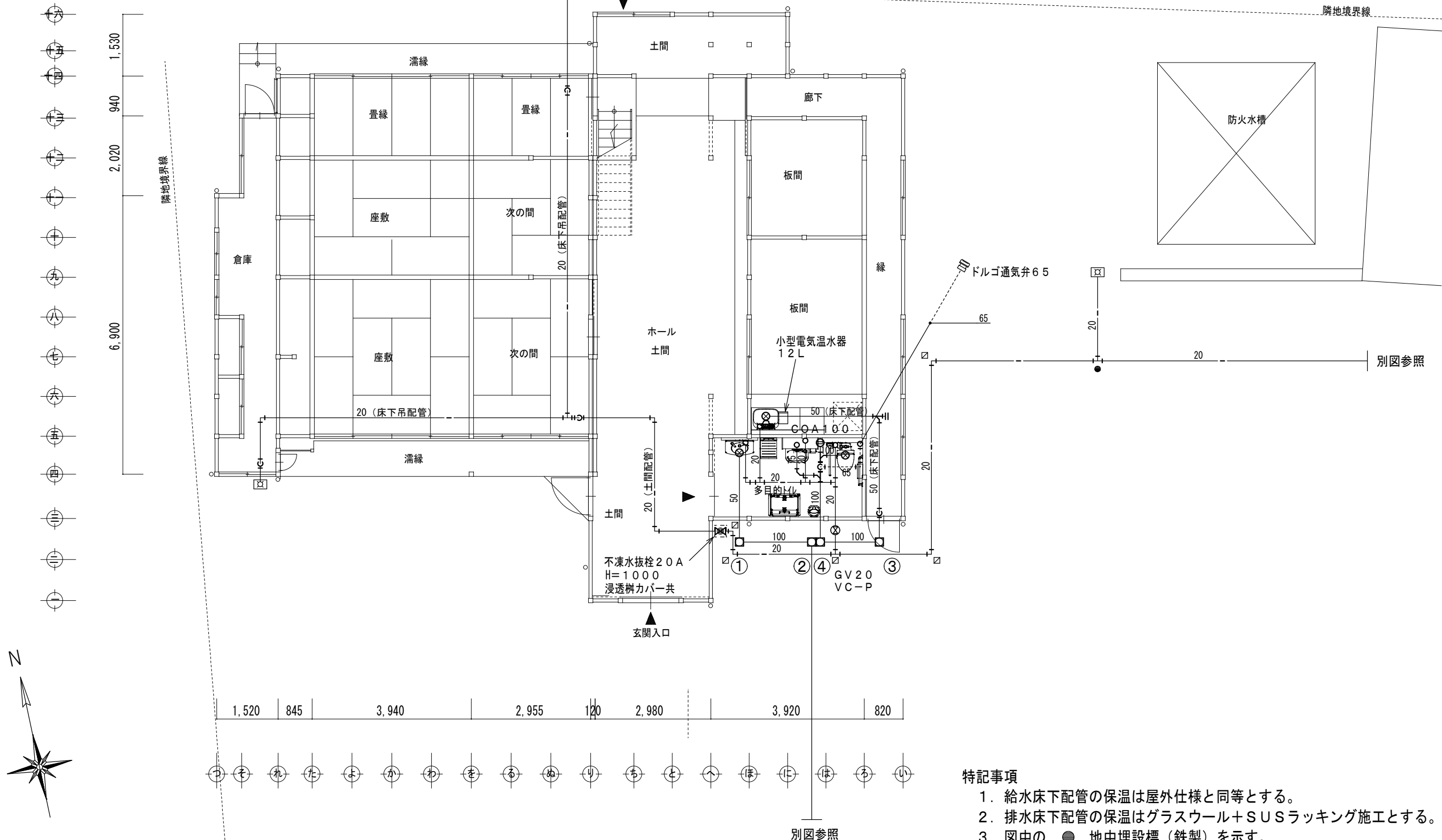
室外機の転倒防止措置要領②





	特 記	日 付	工事名称	図面番号
		令和7年12月15日	津和野伝統的建造物群保存地区防災施設整備工事	
		設計番号 2402	図面名称 衛生設備配置図	
			縮尺 1 : 200	M-5

	特 記	日 付	工事名称			図面番号 M-6
		令和7年12月15日	津和野伝統的建造物群保存地区防災施設整備工事			
		設計番号	図面名称			
	2402	衛生器具表, 桝表 縮尺 NOSCALE				

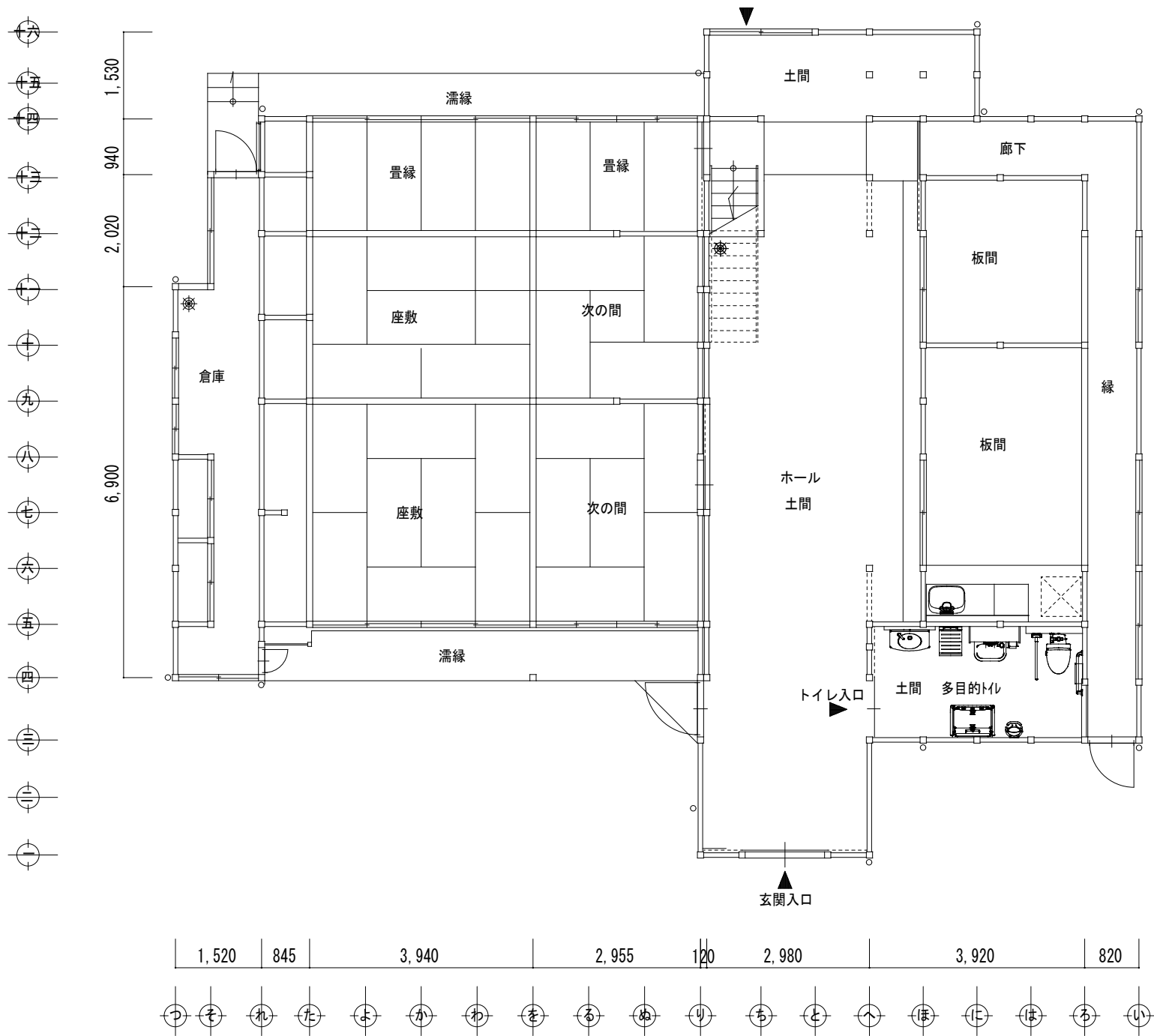
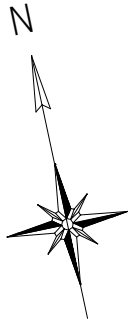


特記事項

1. 給水床下配管の保温は屋外仕様と同等とする。
2. 排水床下配管の保温はグラスウール＋SUSラッキング施工とする。
3. 図中の ● 地中埋設標（鉄製）を示す。
4. 図中の □ 地中埋設標（コンクリート製）を示す。

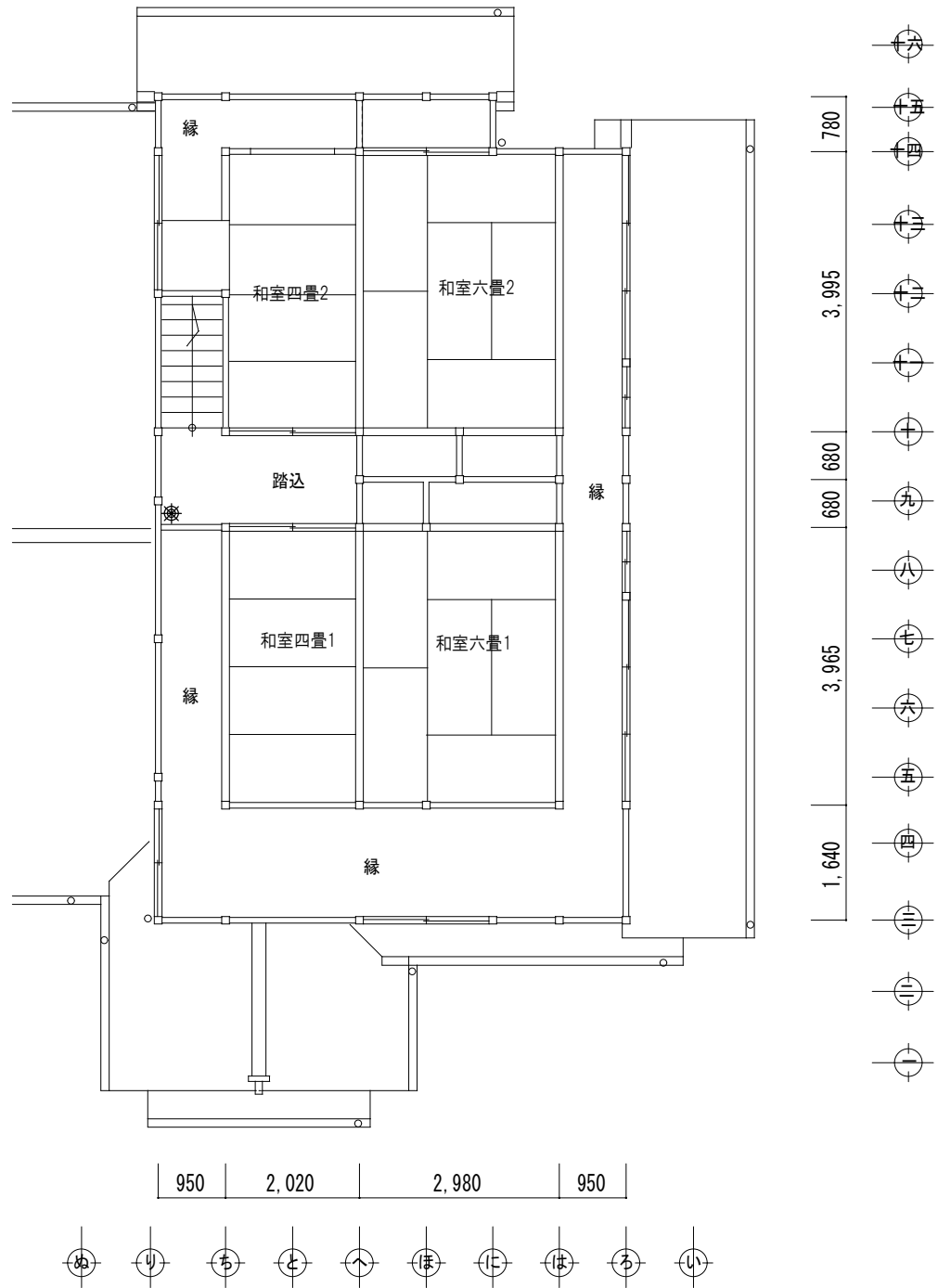
対青館 1階平面図（改修図） S 1:100

特記	日付	令和7年12月15日	工事名称	津和野伝統的建造物群保存地区防災施設整備工事	図面番号
	設計番号	2402	図面名称	衛生設備平面図	M-7
			縮尺	1 : 100	



対青館 1階平面図（改修図） S 1:100

凡 例		
記 号	名 称	規 格 ・ 性 能
滅	消 火 器	粉末消火器ABC10型 スタンド共



対青館 2階平面図（改修図） S 1:100

	特 記	日 付	工事名称 津和野伝統的建造物群保存地区防災施設整備工事		図面番号 M-8
		令和7年12月15日			
		設計番号 2402	図面名称 消火設備1・2階平面図 縮尺 1：100		

空調機器リスト表

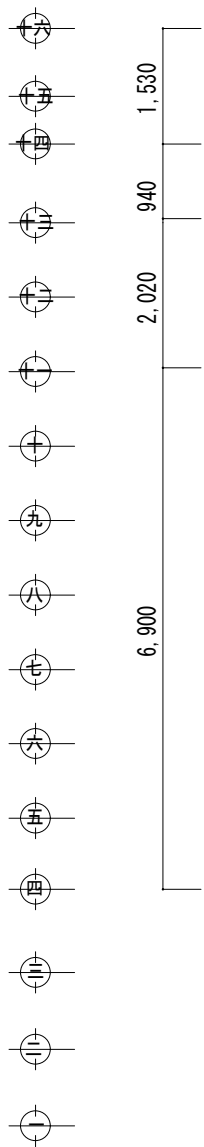
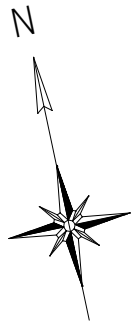
[illegible]

注記：１．パッケージエアコンの冷暖房能力及び消費電力は「ＪＩＳ Ｂ ８６１６」に規定された条件による。
２．耐塩害仕様・耐重塩害仕様は一般社団法人日本冷凍空調工業会「空調機器の耐塩害試験基準」ＲＡ９００２」に基づく。

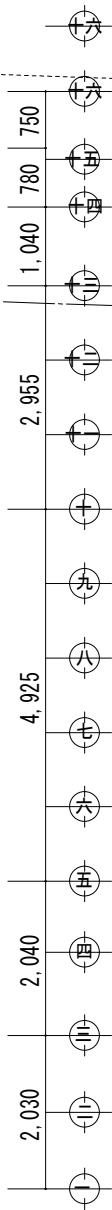
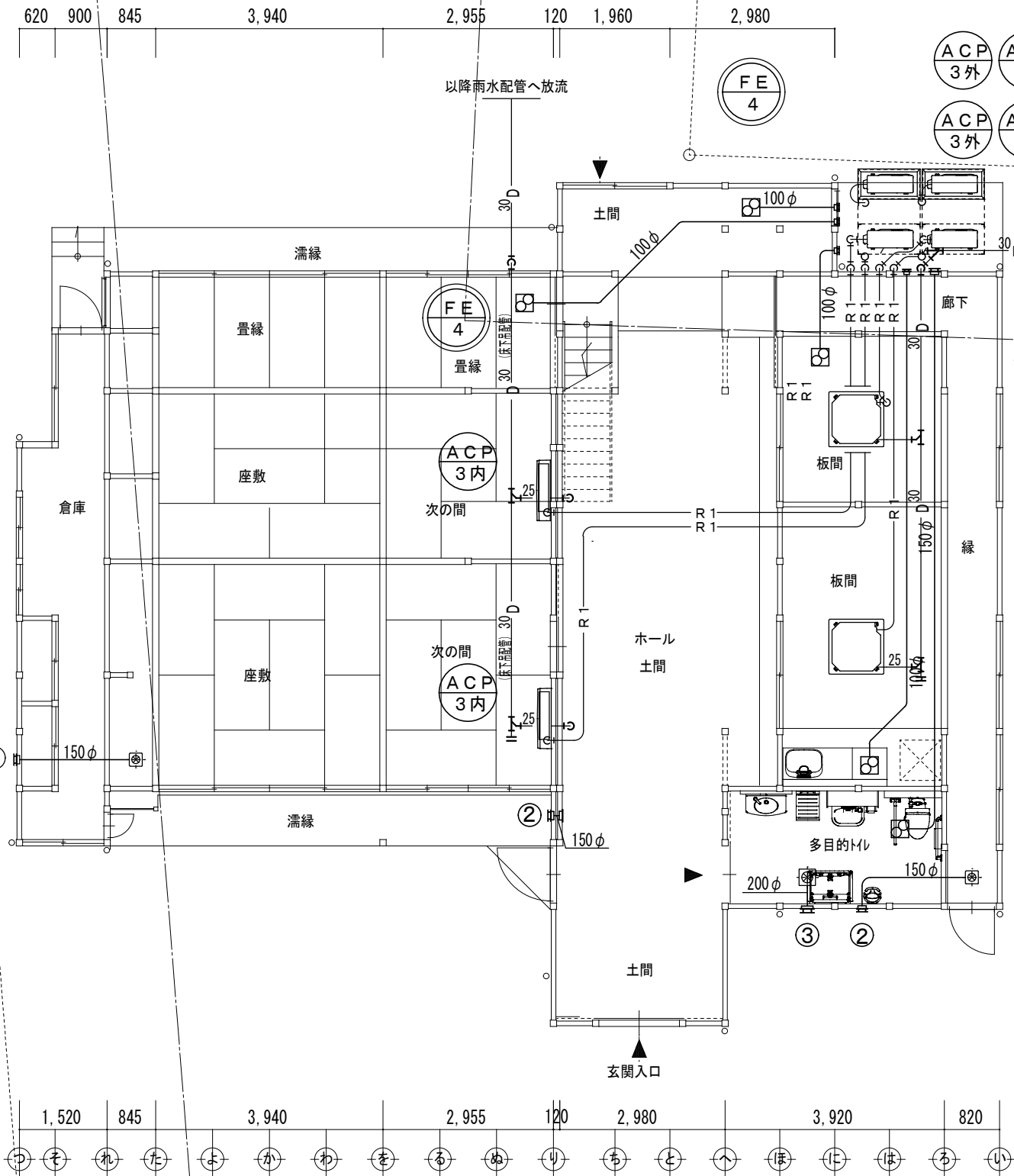
換気機器リスト表

[illegible]

注記：１．換気扇の上記特性は JIS C 9603 に基づく条件による。
 ２．全熱交換器の上記特性は JIS B 8628：2017 に基づく条件による。
 ３．バンドキャップは指定色塗装とする。



隣地境界線



保温筒付冷媒用銅管管径表		
記号	液管	ガス管
R 1	6.35	12.7

樹脂製給気ガラリ (風量調整機能・フィルター付)			
②	150φ	3	
	《参考品番》P-18GLF6		
	SUS製丸形防風板付ベンドキャップ (網) 150φ		
③	200φ	1	
	《参考品番》P-23GLF6		
	SUS製丸形防風板付ベンドキャップ (網) 200φ		

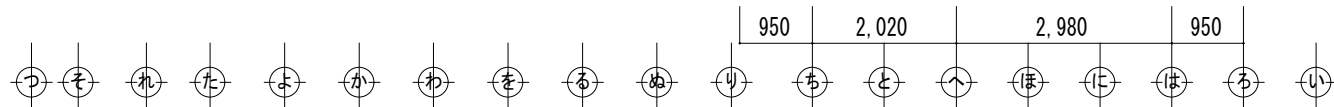
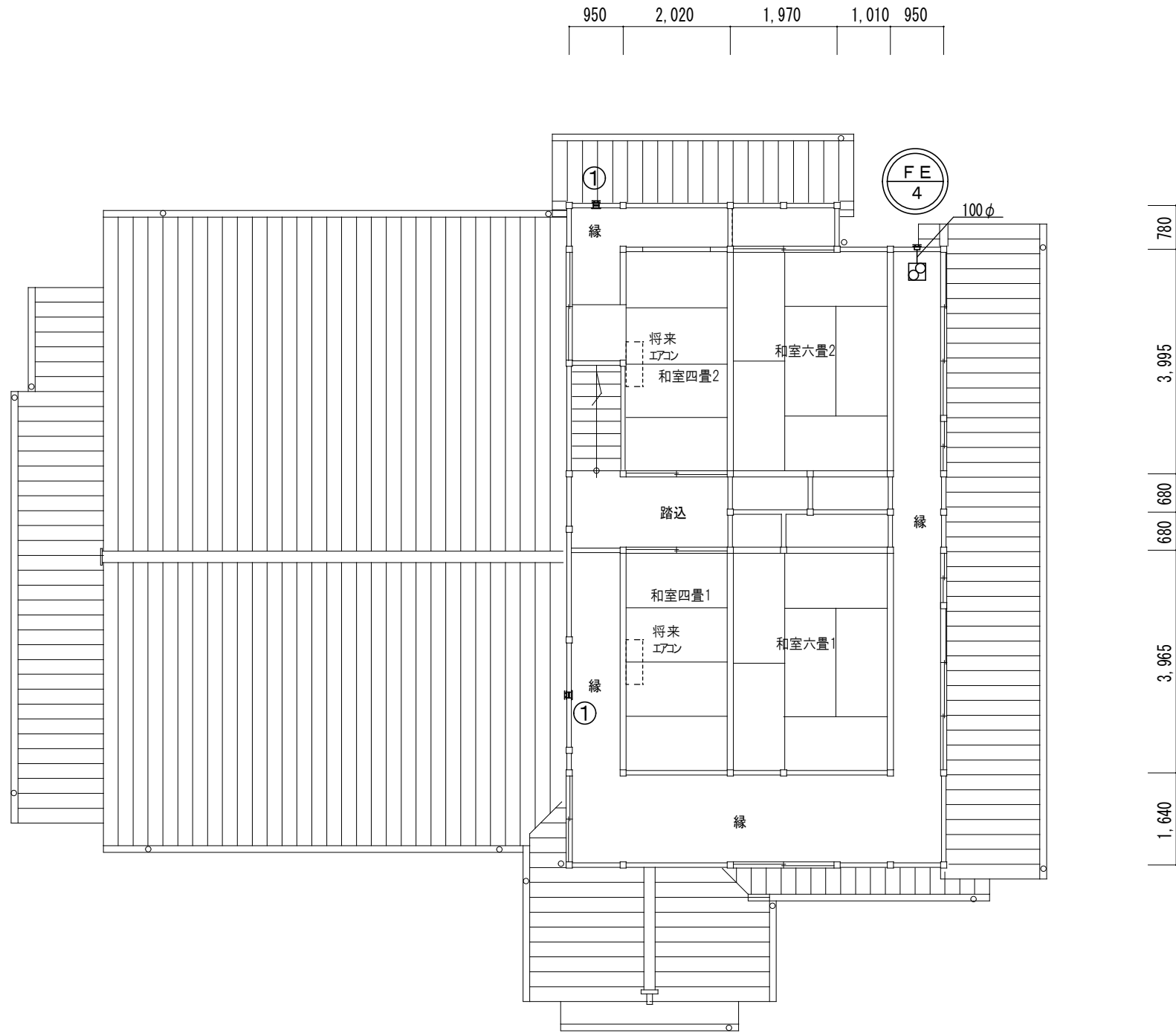
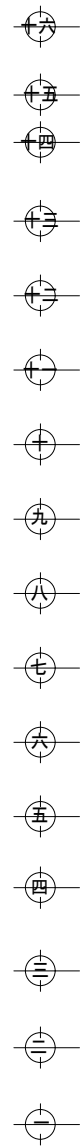
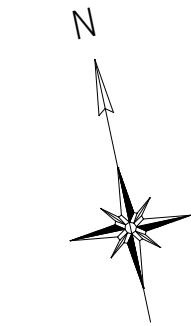
※ベンドキャップは指定色塗装とする。

対青館 1階平面図 (改修図) S 1:100

特記事項

- パッケージエアコンへの電源供給は電気設備工事とし、室外機送りとする。
室内外機間へ電源線・操作線は本工事とし、EM-C EE 2.0□-3Cとする。
- 図中の換気機器記号の◎二重丸はシックハウス用の換気機器を示す。
- 換気ダクトに於いて外壁に開口する排気ダクトは外壁より1m以上は断熱を行うこと。
- 給気ダクトは全て断熱を行う。

特記	日付	令和7年12月15日		工事名称 津和野伝統的建造物群保存地区防災施設整備工事	図面番号 M-10
	設計番号	2402			
	図面名称	空調換気設備1階平面図			
				縮尺 1 : 100	



樹脂製給気ガラリ（風量調整機能・フィルター付）		
①	100φ	2
	《参考品番》P-13GLF6	
	SUS製丸形防風板付ベンドキャップ（網）100φ	
	《参考品番》AT-100TUNSJ5	

※ベンドキャップは指定色塗装とする。

特記事項

- 図中の換気機器記号の◎二重丸はシックハウス用の換気機器を示す。
- 換気ダクトに於いて外壁に開口する排気ダクトは外壁より1m以上は断熱を行うこと。
- 給気ダクトは全て断熱を行う。

対青館 2階平面図（改修図） S 1:100

	特記	日付	令和7年12月15日	工事名称	津和野伝統的建造物群保存地区防災施設整備工事	図面番号	M-11
		設計番号	2402	図面名称	空調換気設備2階平面図	縮尺	1 : 100